

# 令和4年度 JST情報サービス利用者の満足度調査 (JREC-IN Portal登録求人機関向け)

2023年5月10日

国立研究開発法人科学技術振興機構

# 目次

■ 目次	1頁
■ 調査概要	2頁
【調査結果 詳細】	
■ JREC-IN Portal 機関種別	4頁
■ JREC-IN Portal 所属部署	5頁
■ JREC-IN Portal 求人に関わる担当業務	6頁
■ JREC-IN Portal よく利用する求人公募情報の掲載・提供先	7頁
■ JREC-IN Portal 役立ち度	8頁
■ JREC-IN Portal 役に立っている理由	9頁
■ JREC-IN Portal 役に立っていない理由	10頁
■ JREC-IN Portal 役立つサイト名やサービスの内容	11頁
■ JREC-IN Portal 求人プロセスの見直し等の状況	12頁
■ JREC-IN Portal Web応募機能利用状況	13頁
■ JREC-IN Portal Web応募機能役立ち度	14頁
■ JREC-IN Portal Web応募機能が役立つ理由・改善してほしい理由	15頁
■ JREC-IN Portal Web応募機能を利用していない理由	16頁
■ JREC-IN Portal Web応募機能の問題点（具体的に）	17頁
■ JREC-IN Portal 求職者照会機能利用状況	18頁
■ JREC-IN Portal 求職者照会機能役立ち度	19頁
■ JREC-IN Portal 求職者照会機能を利用していない理由	20頁
■ JREC-IN Portal 求職者情報の不十分さ及び、求職者照会機能の使い勝手	21頁
■ JREC-IN Portal 職業紹介事業者を介した求職者へのアプローチの利用状況、職業紹介事業者の参入による貴機関への影響	22頁
■ JREC-IN Portal サービス支援センターの業務に対する満足度	23頁
■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足している点	24頁
■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足していない点	25頁
■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足していない点（その他・要望）	26頁
■ JREC-IN Portal 採用業務に役立つコンテンツとして、作成してほしいもの	27頁
■ JREC-IN Portal 採用業務に役立つコンテンツとして、作成してほしいもの（具体的に）	28頁
■ JREC-IN Portal 改善点	29頁
■ JREC-IN Portal 改善点や参考にすべきWebサイトや期待する機能等	30頁
■ JREC-IN Portal 意見・要望	31頁
【質問票】	
■ 質問票	33頁

## ■ 調査概要

### 調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

### 調査対象

JREC-IN Portal登録求人機関

### サンプル数

1512件

### 調査手法

インターネット調査

### 調査期間

2023年1月13日（金）～2023年2月13日（月）

### 特記事項

自由記述は抜粋し表記。



## 調査結果 詳細

---

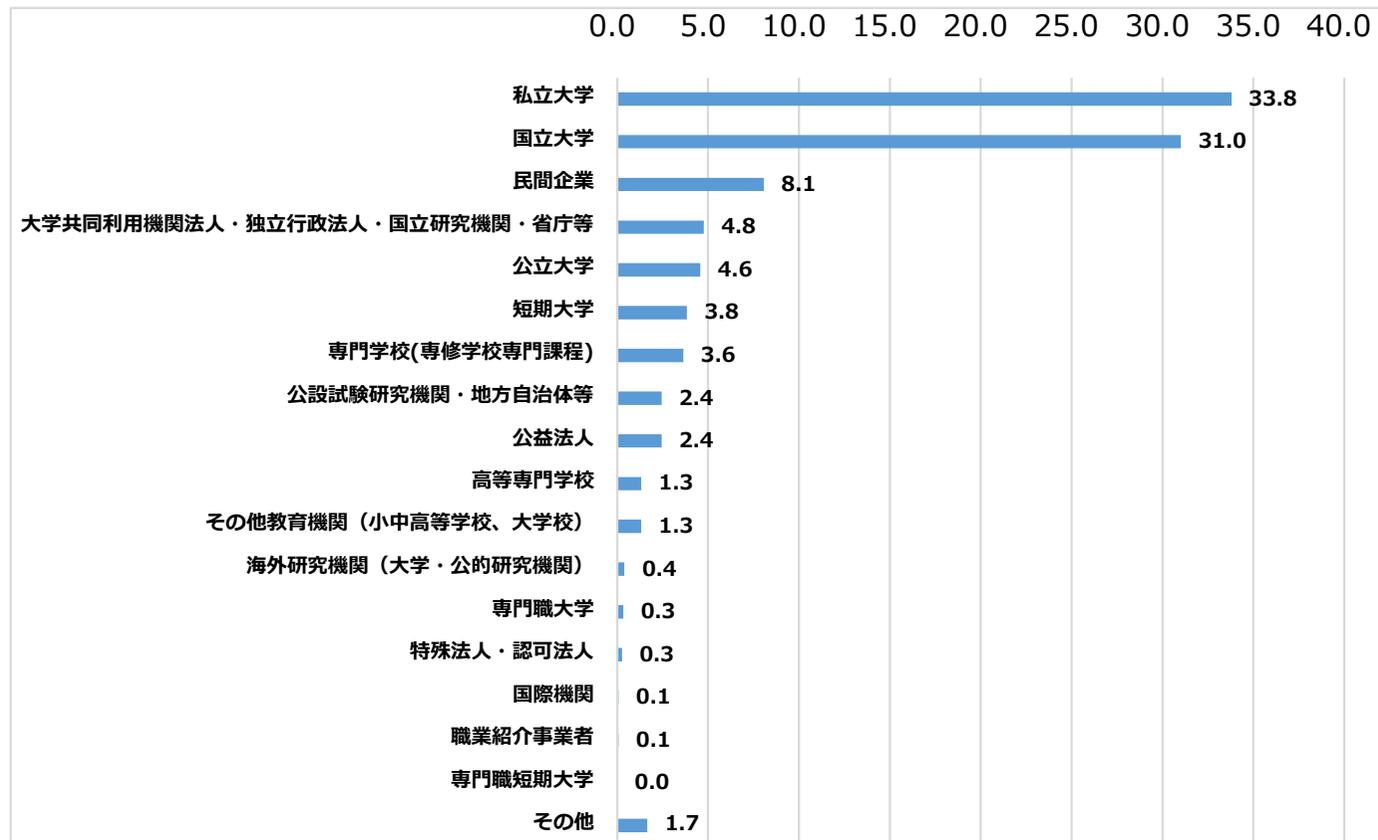
# ■ JREC-IN Portal 機関種別

設問1. 貴機関の種別を選んでください。【1つ選択】

● 種別は、「私立大学」が33.8%と最も高く、次いで「国立大学」の31.0%、「民間企業」の8.1%の順に続いている。

N=1512

単位：%



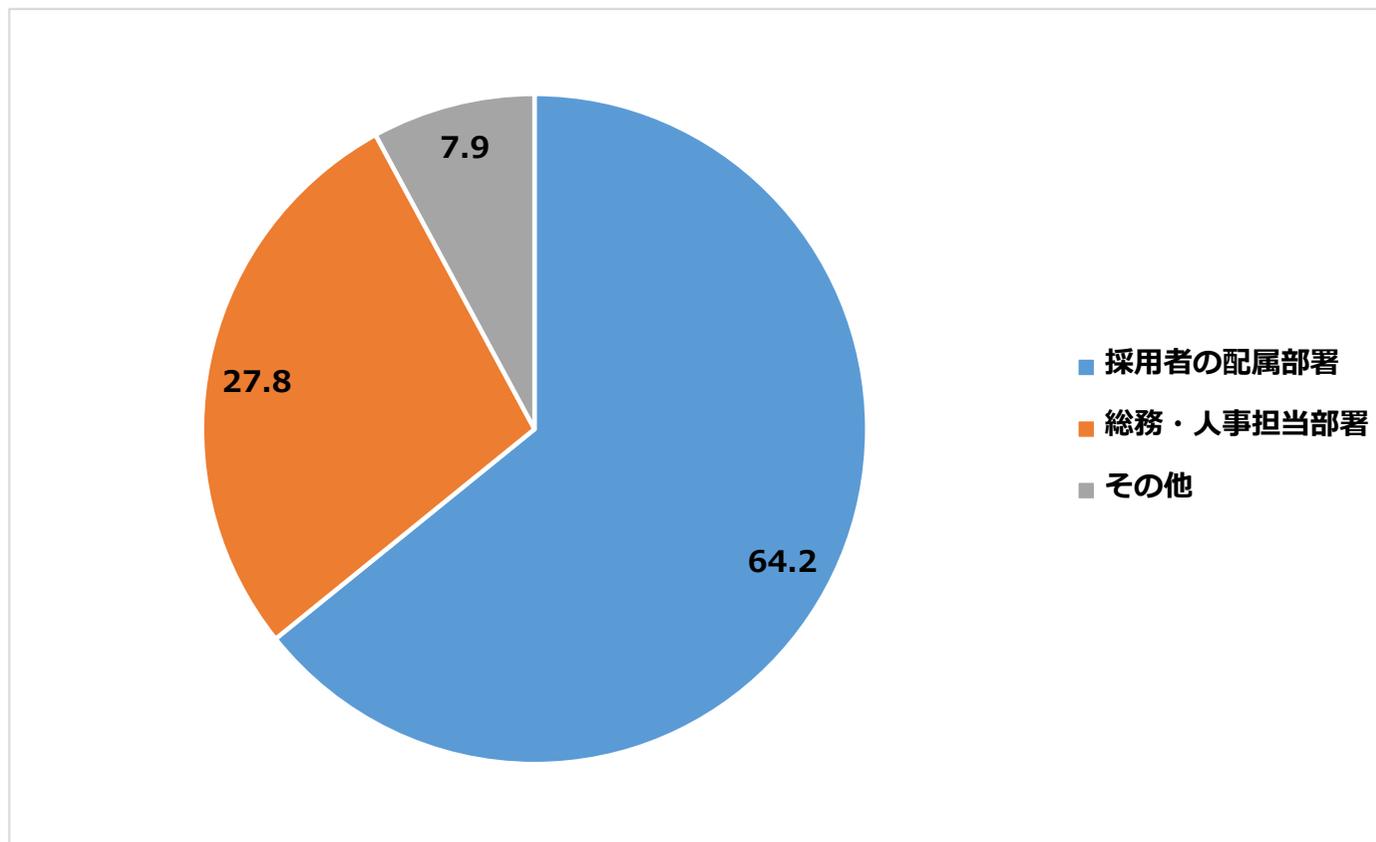
## ■ JREC-IN Portal 所属部署

設問2. 所属部署を選んでください。【1つ選択】

●所属部署は、「採用者の配属部署」が64.2%と最も高く、次いで「総務・人事担当部署」の27.8%、「その他」の7.9%の順に続いている。

N=1512

単位：%



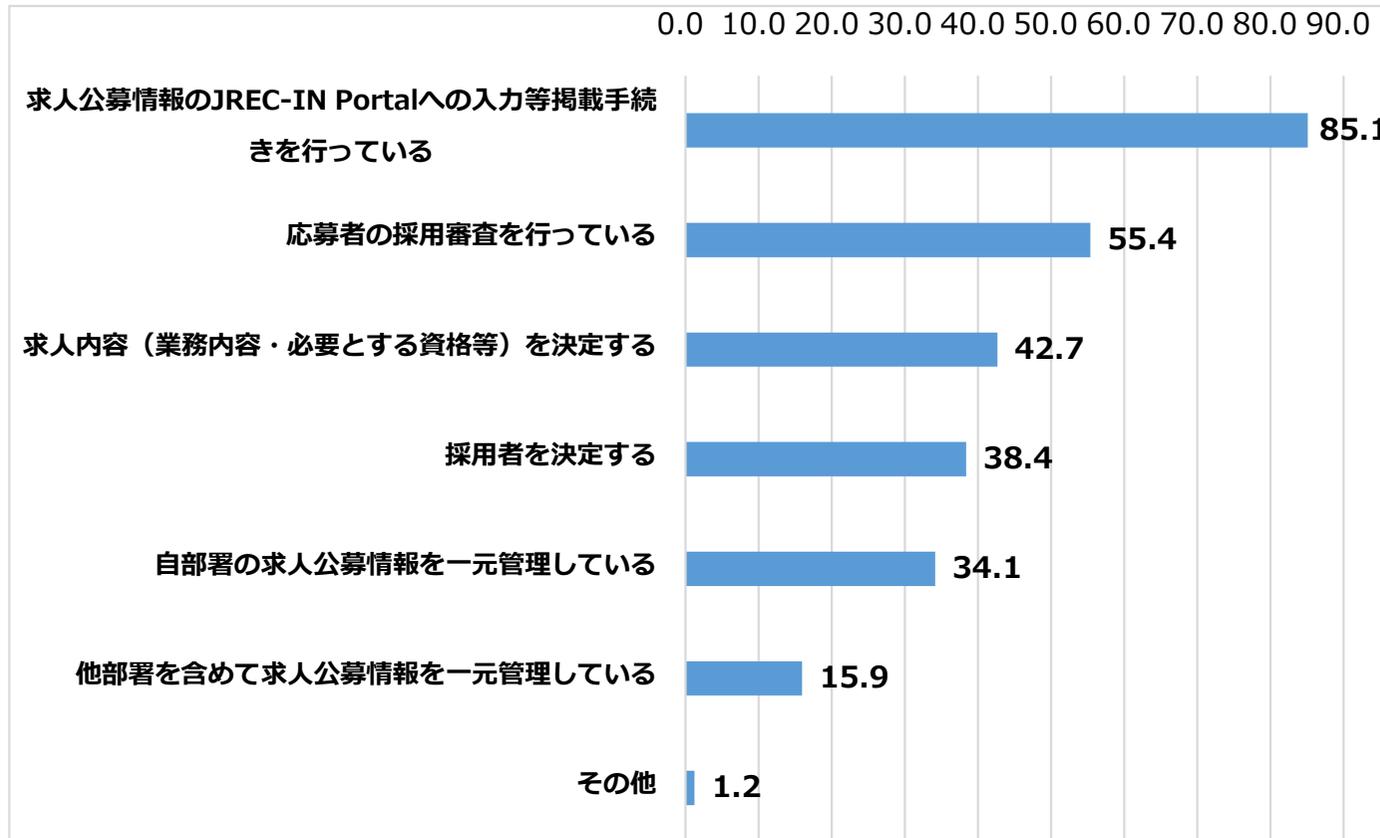
# ■ JREC-IN Portal 求人に関する担当業務

設問3. 求人に関する担当業務（応募者の募集・選考・採用など）を選んでください。【複数選択可】

● 担当業務は、「求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている」が85.1%と最も高く、次いで「応募者の採用審査を行っている」の55.4%、「求人内容（業務内容・必要とする資格等）を決定する」の42.7%の順に続いている。

N=1512

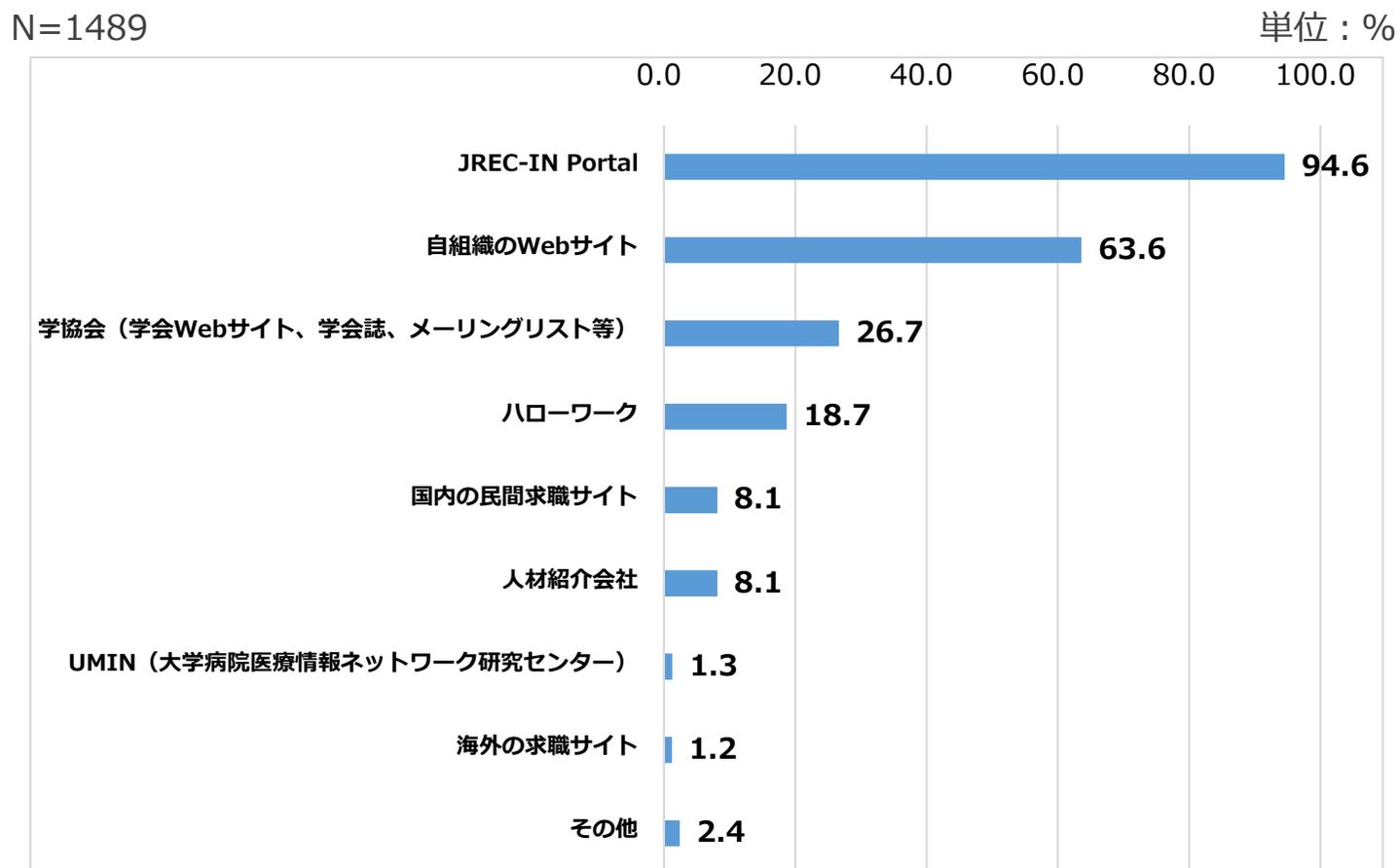
単位：%



# ■ JREC-IN Portal よく利用する求人公募情報の掲載・提供先

設問4. よく利用する求人公募情報の掲載・提供先を選んでください。【複数選択可】

●よく利用する求人公募情報の掲載・提供先は、「JREC-IN Portal」が94.6%と最も高く、次いで「自組織のWebサイト」の63.6%、「学協会（学会Webサイト、学会誌、メーリングリスト等）」の26.7%の順に続いている。



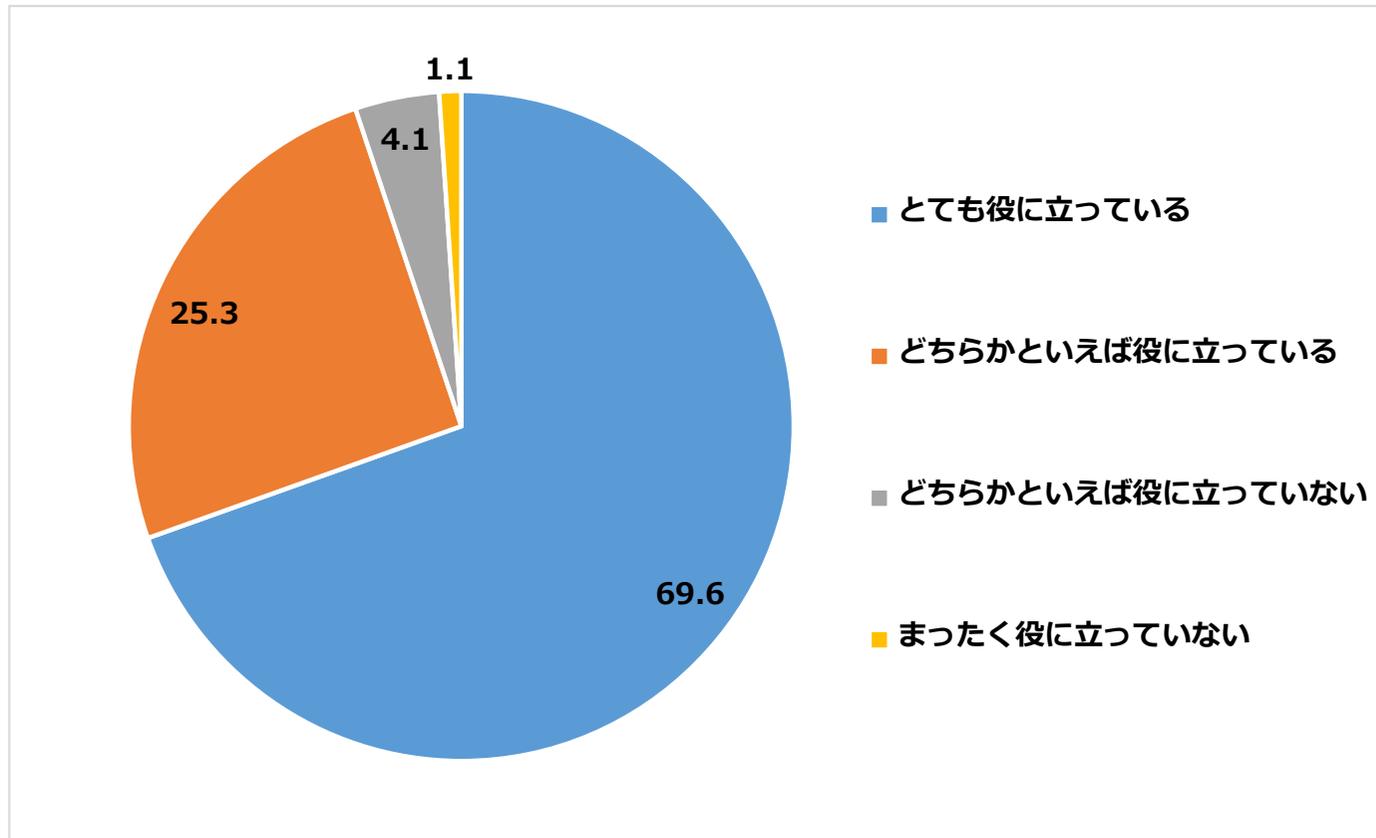
# ■ JREC-IN Portal 役立ち度

設問5. JREC-IN Portalは求人活動に役に立っていますか。【1つ選択】

● JREC-IN Portalの役立ち度は、「とても役に立っている」が69.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば役に立っている」の25.3%の順が続いている。

N=1512

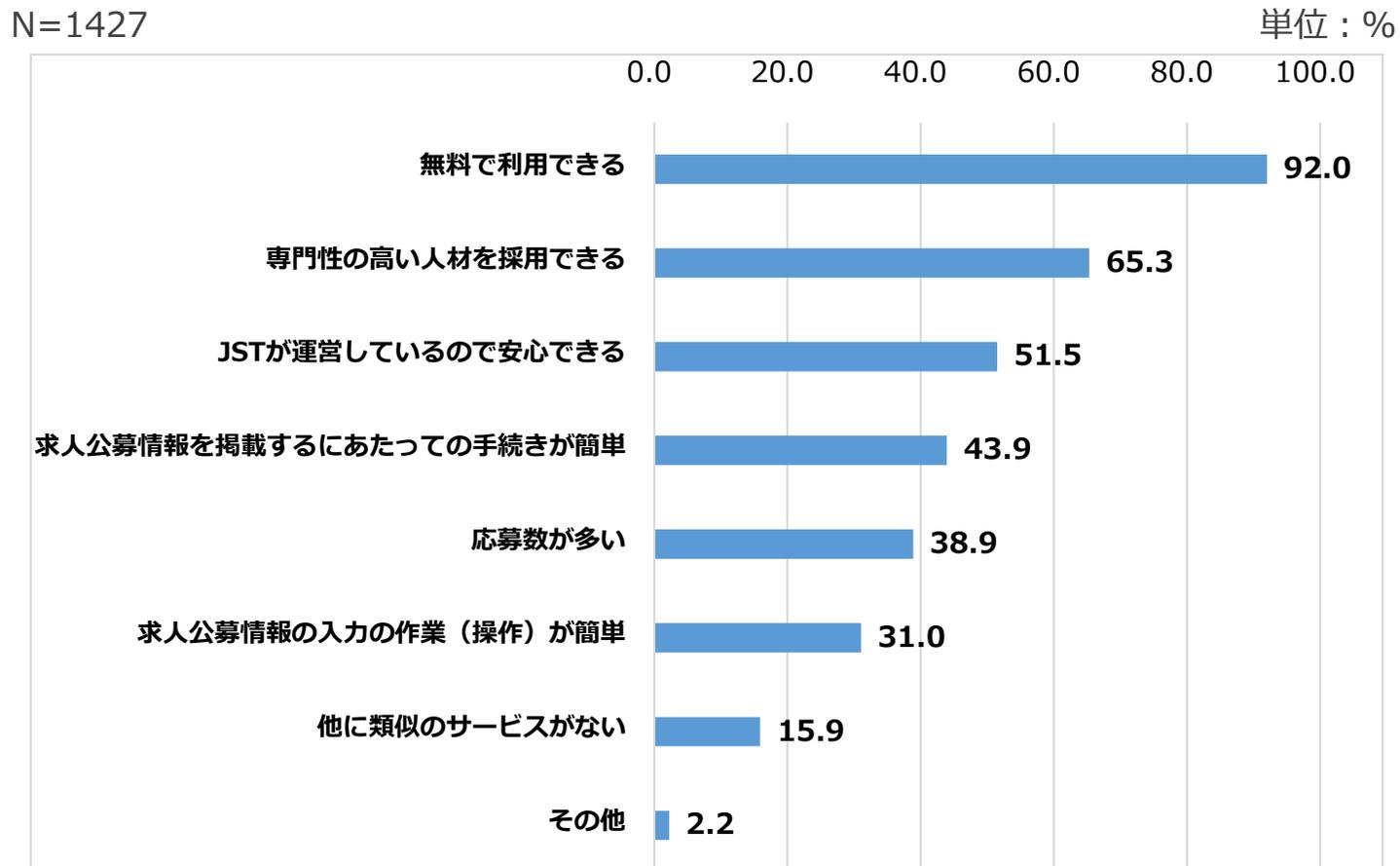
単位：%



# ■ JREC-IN Portal 役に立っている理由

設問5-1. 役に立っている理由を選んでください。【複数選択可】

● JREC-IN Portalが役に立っている理由は、「無料で利用できる」が92.0%と最も高く、次いで「専門性の高い人材を採用できる」の65.3%、「JSTが運営しているので安心できる」の51.5%の順に続いている。



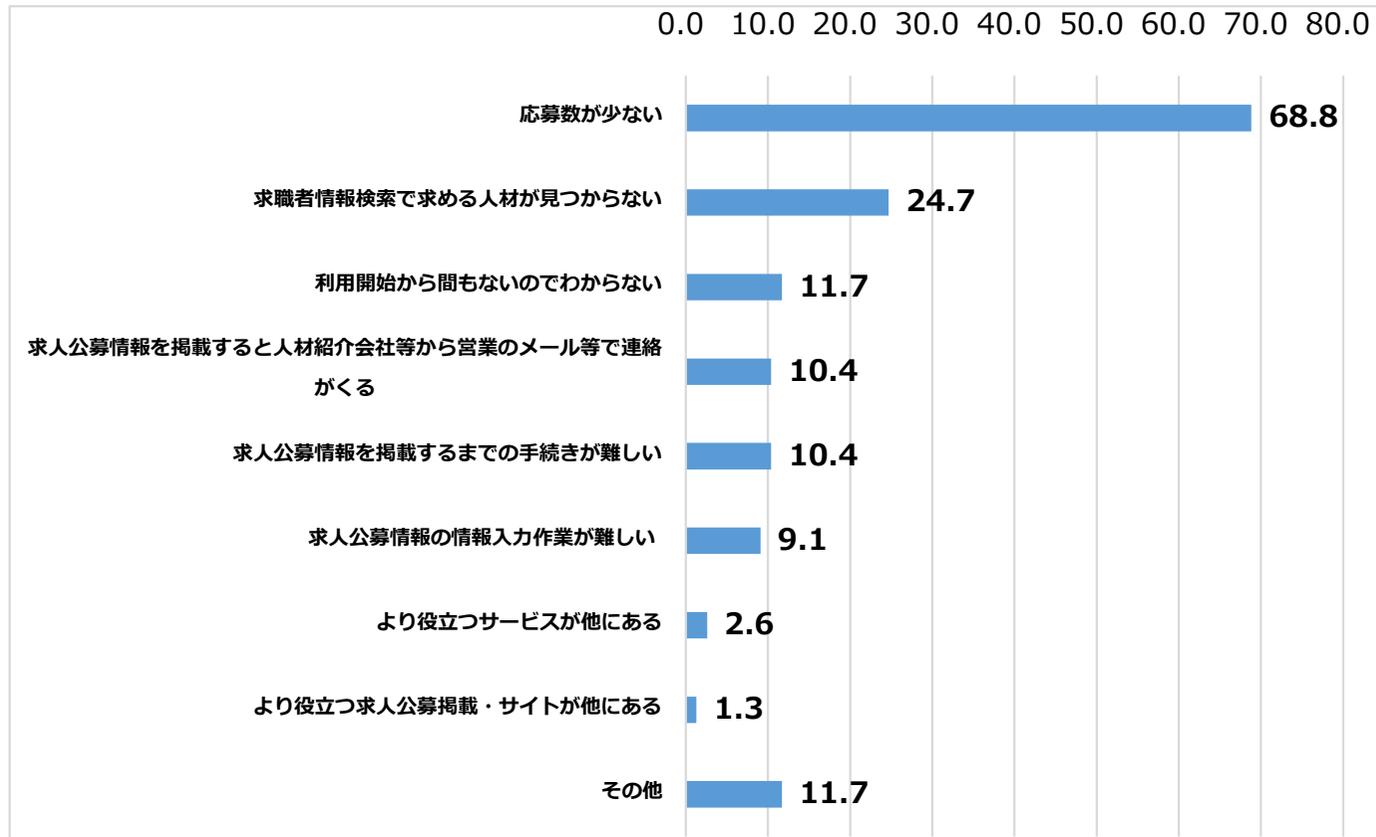
# ■ JREC-IN Portal 役に立っていない理由

設問5-2. 役に立っていない理由を選んでください。【複数選択可】

● JREC-IN Portalが役に立っていない理由は、「応募数が少ない」が68.8%と最も高く、次いで「求職者情報検索で求める人材が見つからない」の24.7%、「利用開始から間もないのでわからない」の11.7%の順に続いている。

N=77

単位：%



# ■ JREC-IN Portal 役立つサイト名やサービスの内容

設問5-2-1. 選択肢3・7・8を選んだ方は、その詳細や役立つサイト名やサービスの内容を具体的に書いてください。【自由入力】

## ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

【3. 求人公募情報を掲載すると人材紹介会社等から営業のメール等で連絡がくる】 -----

- 応募者が少ないのは、2つだと思う。
  - 1：大学で直接テクニシャンを募集しても、派遣会社経由よりも、もらえる金額が少ないからだと思う。大学の場合、テクニシャンは6時間勤務、派遣は通常8時間勤務。勤務時間は長くなるがもらえる金額は多くなる。
  - 2：自分で探すのは大変、派遣会社なら登録しておけば派遣会社が探してくれるから。
- 多数の人材紹介会社から営業メールや電話があり、非常に困っている。
- 人材紹介会社からの応募は受け付けていません。
- データベースの登録者情報を送ってくる。人材紹介に関する営業の電話が頻繁にくる。

【7. より役立つ求人公募掲載・サイトが他にある】【8. より役立つサービスが他にある】 -----

- doda …… 求職利用者の絶対数が非常に多くため、結果的に応募者も多い。(スキル的に合致しない方も多く応募してくるが、それでも、有望な応募者の数も多い。
- 採用部署に関わる協議会等(複数) …… 関連した業務の経験者や関心を有している方が応募してくる。

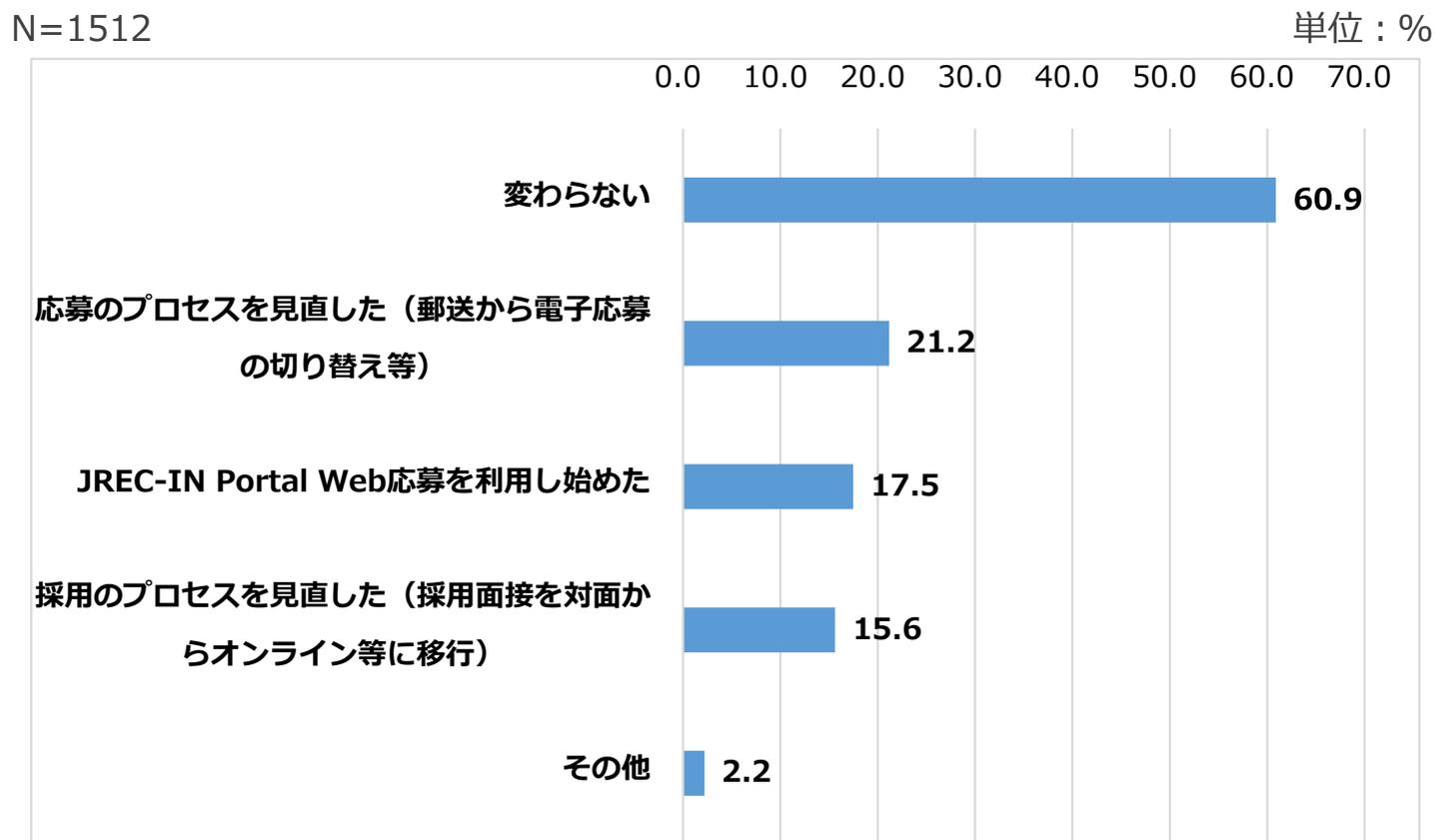
【その他】 -----

- 地域的に人材が少ない模様。

# ■ JREC-IN Portal 求人プロセスの見直し等の状況

設問6. 求人プロセス（応募方法など）の見直し等を行っていますか。該当するものを選んでください。【複数選択可】

● 求人プロセスの見直し等について、「変わらない」が60.9%と最も高く、次いで「応募のプロセスを見直した（郵送から電子応募の切り替え等）」の21.2%、「JREC-IN Portal Web応募を利用し始めた」の17.5%の順に続いている。



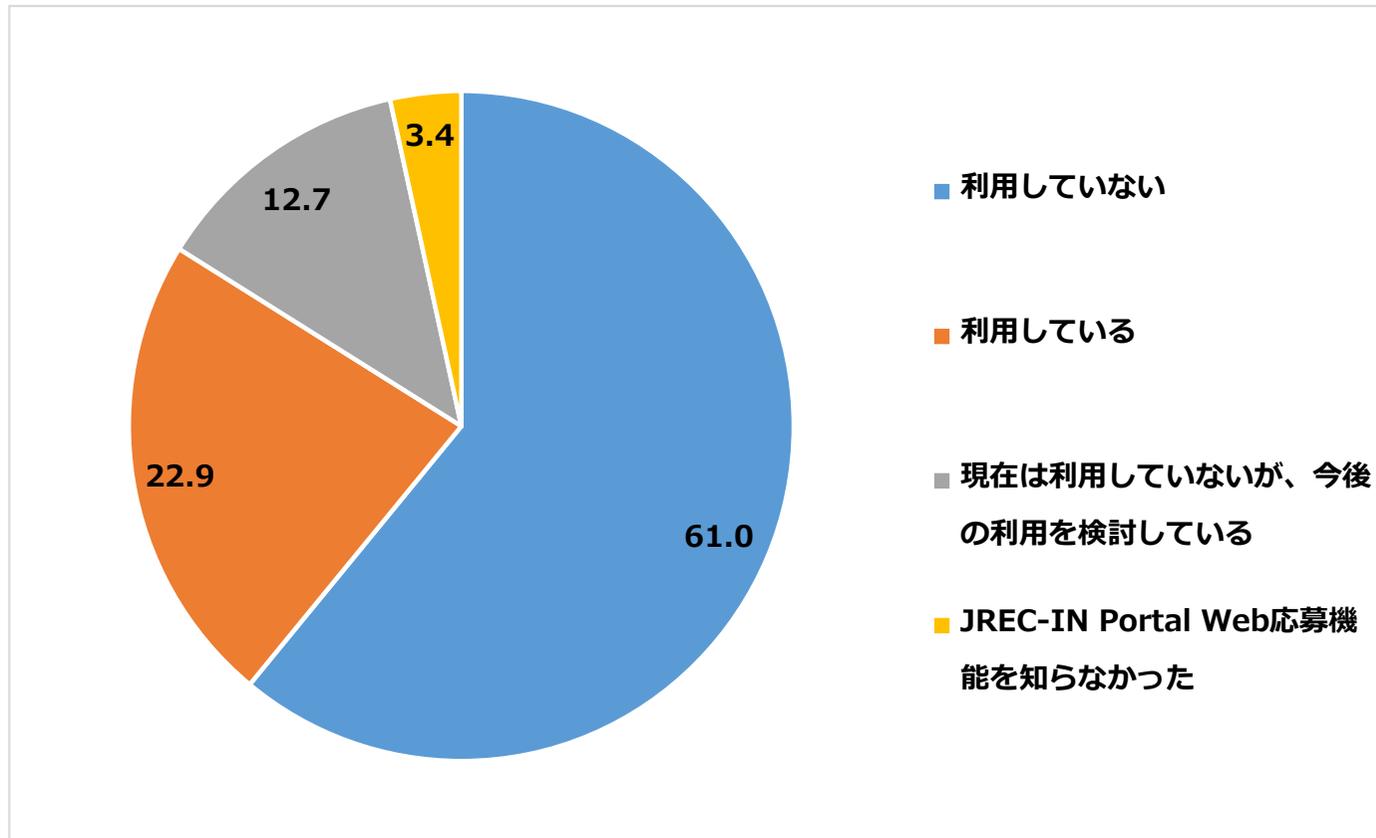
# ■ JREC-IN Portal Web応募機能利用状況

設問7. JREC-IN Portal Web応募機能を利用していますか。【一つ選択】

● JREC-IN Portal Web応募機能利用状況は、「利用していない」が61.0%と最も高く、次いで「利用している」の22.9%、「現在は利用していないが、今後の利用を検討している」の12.7%の順に続いている。

N=1512

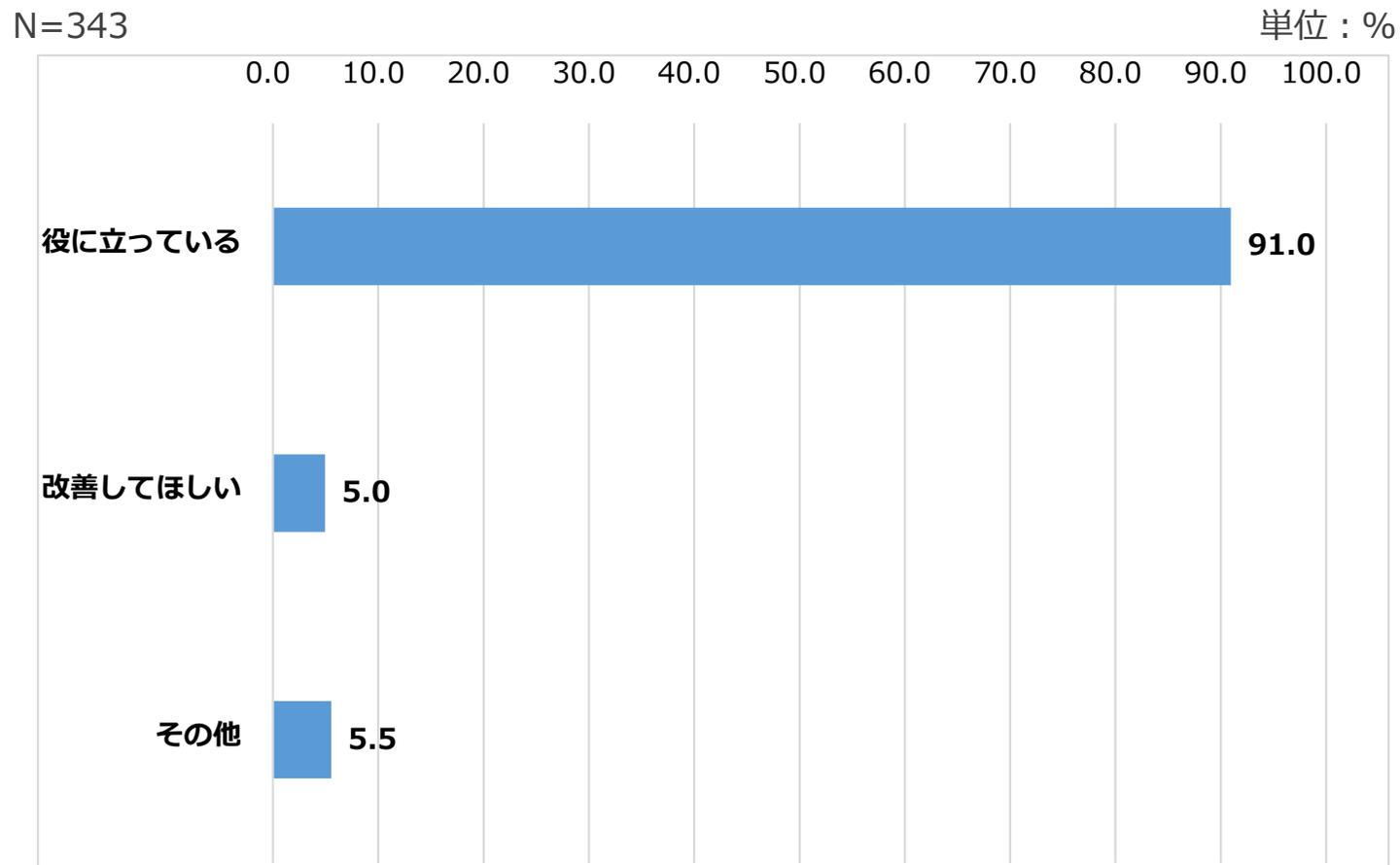
単位：%



# ■ JREC-IN Portal Web応募機能役立ち度

設問7-1. JREC-IN Portal Web応募機能について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

● JREC-IN Portal Web応募機能役立ち度は、「役に立っている」が91.0%と最も高く、次いで「改善してほしい」の5.0%の順が続いている。



# ■ JREC-IN Portal Web応募機能が役立つ理由・改善してほしい理由

設問7-1-1. その理由（Web応募機能が役立つ理由・改善してほしい理由）を書いてください。【自由入力】

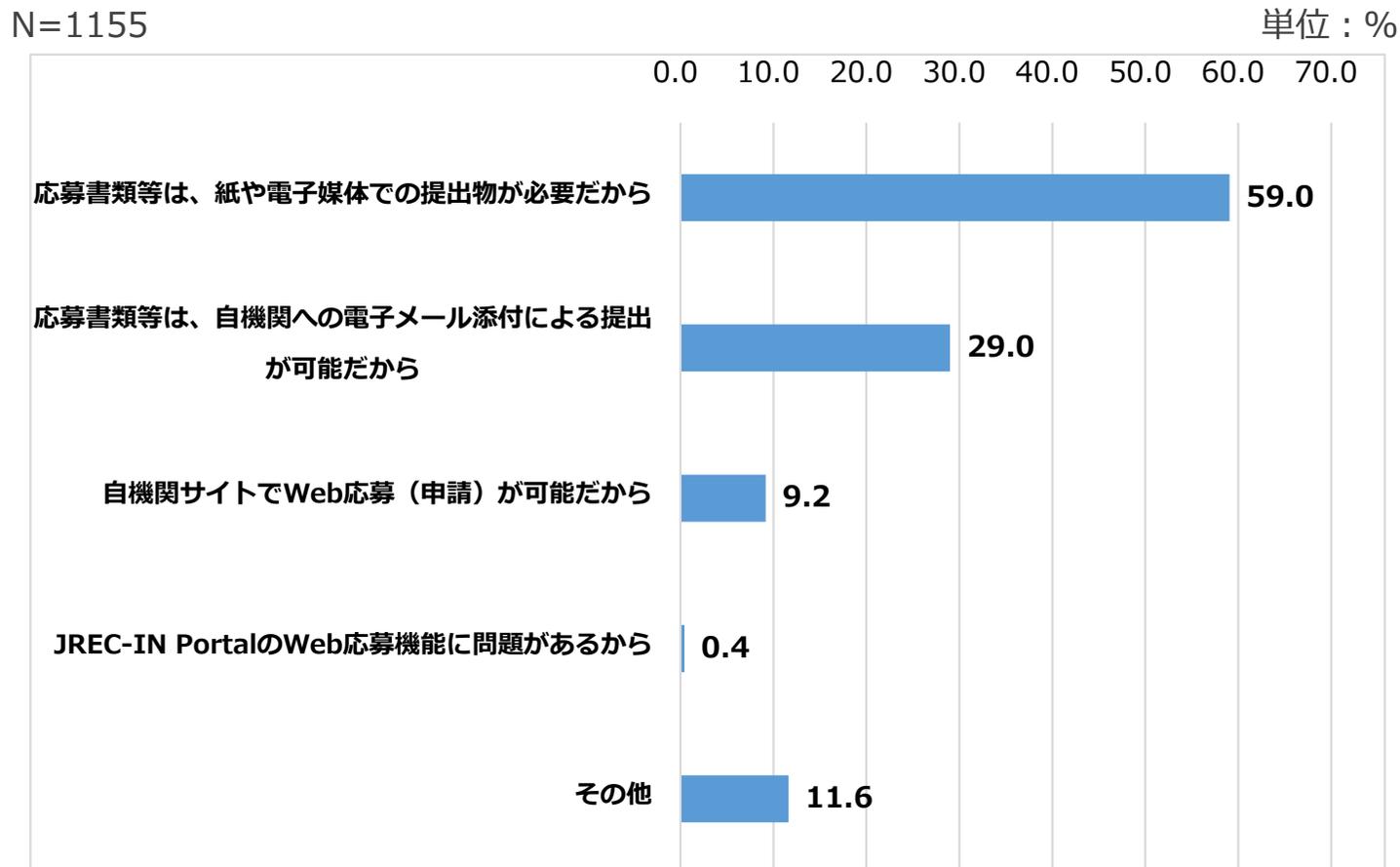
## ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- 応募数が少ない。
- 不採用通知をするにあっても、応募者に失礼のないようなコメントを記載して通知したい。
- 海外からの応募はWeb応募が多いです。
- メールでpdfファイルなど重たいファイルを受け取る手間がなくなり、メールが埋もれたりすることもなく、応募者情報が分かる。
- 公募後の応募書類の適切な処理、管理のしやすさ、応募者への連絡。
- 応募者の負担軽減と、採用組織側の受付作業の軽減。
- Web応募は応募側も採用側も双方にとって便利で、手続きも簡単、しかも無料である。ただ、採用の最終決定はオンラインも含めた面接で決めている。
- 応募書類が一つのフォルダにまとめられていてダウンロードできるため、ダウンロード漏れがないので安心。
- 応募締め切りの日にちだけでなく、締め切り時刻も設定できるようにしていただきたい。
- データで管理できるので書類保管の手間が省ける。
- 以前に利用したものも参照できて非常に便利。無料で利用でき専門性も高い。
- 提出が問題なく完了した旨を組織から応募者にJREC-IN Portalを通して、通知できない。
- 優秀な人材を採用することができた。
- 透明性が高い。
- ほぼすべての採用プロセスがウェブ、オンラインで完結すること。
- JREC-INに登録した応募者のみ利用できる所以信頼できる。メールでの送付と異なり確認漏れなどの危険がない。
- ペーパーレス化が図れる。採用のための資料作成時にコピーできる。
- メールでの応募や郵送においては、受取者の負担や見逃しのミスなどが起こる危険があるが、WEB応募機能があると、応募者のそれが無くなり、また容量の大きな書類についても、メールで送る必要が無いため。
- 閲覧者が多いので、大学の求人情報より有効。
- 遠方からの応募に際して郵送にかかるタイムロスが生じない。
- 応募の書式の字が見づらい。
- 応募者が応募書類をアップロードする要領を増やして欲しい。研究者の応募の場合、業績の提出が必須であり、容量をオーバーした場合、Web応募機能を利用せずに別途メールのやり取りをする手間が増える。手間を増やさないように配慮いただいている機能だと理解しており、さらに改善されると大変助かる。
- 応募者にとってフレンドリーであり、応募者数が増えそうである。一方で、レベルに達していない人の応募も増える傾向にはある。
- 応募者の要望にマッチしており求人に対する応募へのハードルを下げている(応募しやすい環境にしている)と感じる。
- 求職者の情報を詳細にして欲しい。特に、どのような技術を有するか、どのような仕事（研究）をしたいのかなど。
- 人材の質が高い。
- 専門性の高い人材から応募していただくことができた。
- 操作方法が簡便であり、利用しやすい。
- 幅広い人材が閲覧しているから。
- 良い人材を採用できた。

# ■ JREC-IN Portal Web応募機能を利用していない理由

設問7-2. JREC-IN Portal Web応募機能を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

● Web応募機能を利用していない理由として、「応募書類等は、紙や電子媒体での提出物が必要だから」が59.0%と最も高く、次いで「応募書類等は、自機関への電子メール添付による提出が可能だから」の29.0%、「自機関サイトでWeb応募（申請）が可能だから」の9.2%の順に続いている。



# ■ JREC-IN Portal Web応募機能の問題点（具体的に）

## 設問7-2-1. JREC-IN Portal Web応募機能の問題について具体的に書いてください。【自由入力】

### ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- 本学の教職員選考では、紙媒体での書類提出を義務付けており、現状ではWebを利用することが有効でない。
- 多くの博士応募者（外国人を含め）はすでに自分のCVを持っているので、改めて指定すると、それに合わせて作り直さなければならないので、応募に手間が生じる。機関指定の応募要項が詳細にあると、ほとんど意味のない書式や詳細部分も指定に従って記載しなくてはならず、手間が生じる。ポスドクのような場合は様式によらず、本人のアピールしたい方式で基本データが入っておればよいと思います。教授等の募集の場合は、指定したデータや正確な記載が必要と思います。
- 応募書類の所定様式や応募書類の提出をwebからしていただいています。その辺りの使い方が煩雑になるため、JREC-IN Portal Webを使用していません。
- 学校の都合により募集開始から募集締め切りまで、期間が短いことが多く、一部の書類のみwebから入手するのは良いとしても、個人情報が含まれているものをwebにあげてもらい、入手するにはかなりの抵抗がある。
- 利用者側に問題あり。Webでの応募で利便性が高まれば応募者が増え、それに相反し業務担当者は少数のため、付処理等対応が難しい。採用人事委員会までのスケジュールがタイトで間に合わない。
- 本学では、応募書類に書籍や文献書類の提出をお願いしているので、Webでの申請が難しい。
- 全ての応募を一元管理する場合、JREC-IN Portal Web応募機能をつかうよりも、自社サイトの応募ページへのリンクをJREC-INに貼る方が効率的なため、利用をやめました。
- 応募者多数の場合、個人情報掲載資料の取扱いが煩雑になる。
- 業績書など冊子媒体のものの提出が必要であり、採用プロセスでも複数部数準備するため、完全にWeb化するまでに時間がかかりそうだと感じている。
- これまでの選考過程から、電子応募へ切り替えた際の、予測し得ないトラブル対応を恐れてまだ切り替えができていません（応募書類の不備（卒業証書の写しを送ったつもりになる等））。今後、利用者目線という、利用してみるのも必要かと感じています。
- 電子メールによる応募で管理しており、これまで利用を検討していませんでした。複数人で求人をチェックしているため、ログインして閲覧するより、電子メールのほうが随時気づくという点はあります。
- 審査委員会と公募を行う人事が別組織なため、応募者に関する問い合わせなどがスムーズに行えるかが心配。
- 理系メインでの設計のように感じます。文系ポストは一つ一つ内容が大きく違い、その都度、求人者も応募者も書き方が異なりますので。
- なんといいても、応募者が少ない点だと思っています。
- 個人情報扱う内容を他機関の収集に任せることに懸念がある。
- エクセルなどでテンプレートがあって、アップロードすれば項目が記載されるような機能があるとよいと思います（大学名などを一つ一つ入力するのはたいへんです）（見落としていたら申し訳ありません）。
- 自組織で応募、審査、採択・不採択通知までの一環したシステムを構築したため、JREC-IN Portal Webの応募機能は特に参照していません。
- 一部の書類はWebで送付が不可（推薦状など）で郵送との併用になる。
- 未だに「提出書類」を応募条件としています。Webだと「提出する」という重みが薄れる・・・という感じを持っています。しかし、Web応募へシフトしていく必要についても理解しているつもりです。
- メール添付ファイルがウイルス感染していないか不安。業績の提出を求めているが、メールでは不便。
- 一度検討した際に応募書類のファイルサイズや通知の種類等に当方と合致しない部分があり利用しなかった。
- 機密書類の取り扱いについて心配がある。
- 掲載手続きを行う所属と実際に採用を決める所属は違うため、応募機能の使用は不都合がある。
- 今回、初めてJREC-IN Portalを利用させていただきましたが、募集までにあまり時間がなく、Web応募機能について十分把握することができず、また、使用経験がなく、使い勝手や利便性がわからなかったため、使い慣れている電子メールを利用しました。その利便性についてもっとわかりやすいマニュアルや動画による説明があると良いと思われました。
- 提出書類の書式を、応募側があらかじめ指定したものに自動変換してくれる機能があると、利用することを検討する。
- 入力画面での結果表示欄がないので、誤入力などの確認作業が困難。

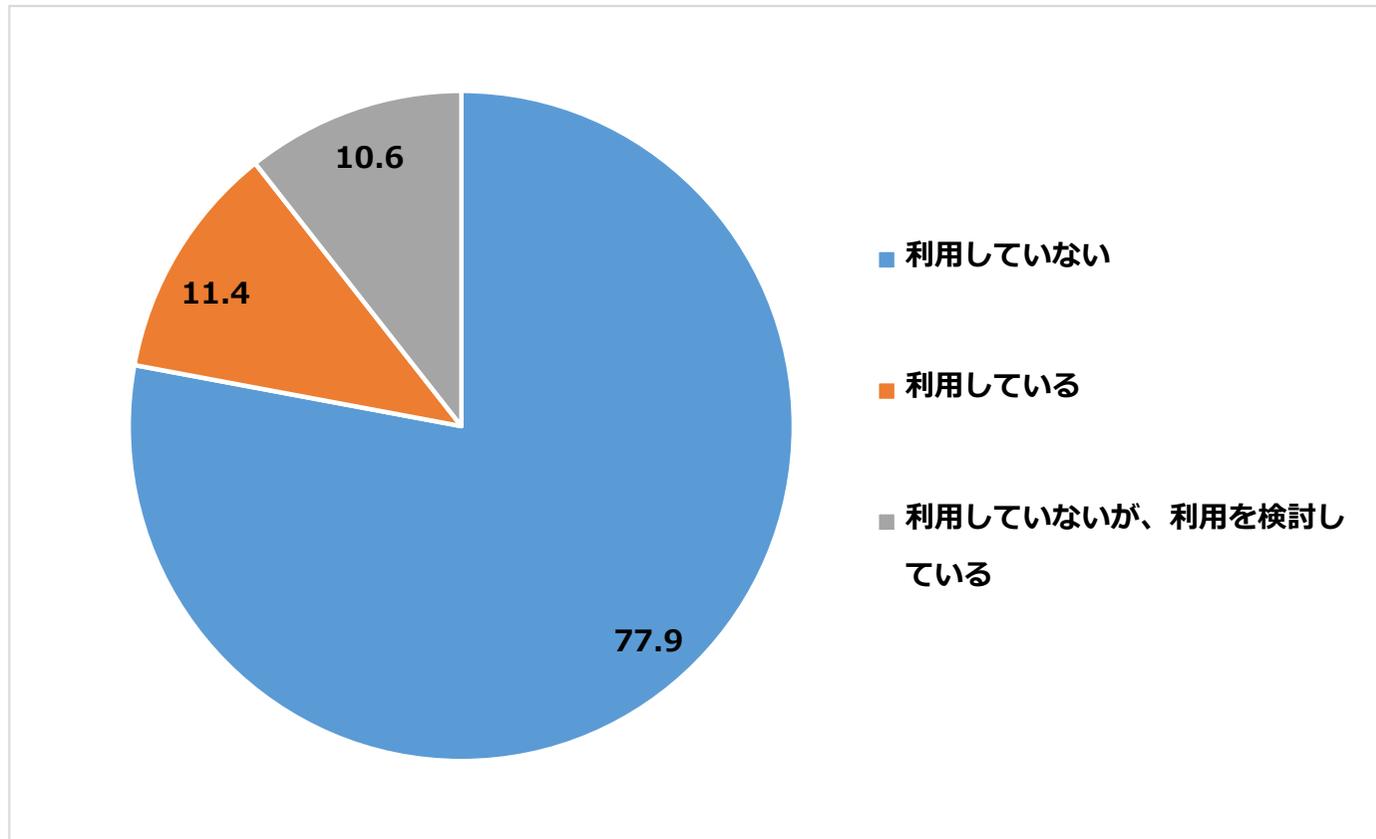
# ■ JREC-IN Portal 求職者照会機能利用状況

設問8. 求職者照会機能を利用していますか。【一つ選択】

● JREC-IN Portal 求職者照会機能を利用しているかは、「利用していない」が77.9%と最も高く、次いで「利用している」の11.4%、「利用していないが、利用を検討している」の10.6%の順に続いている。

N=1512

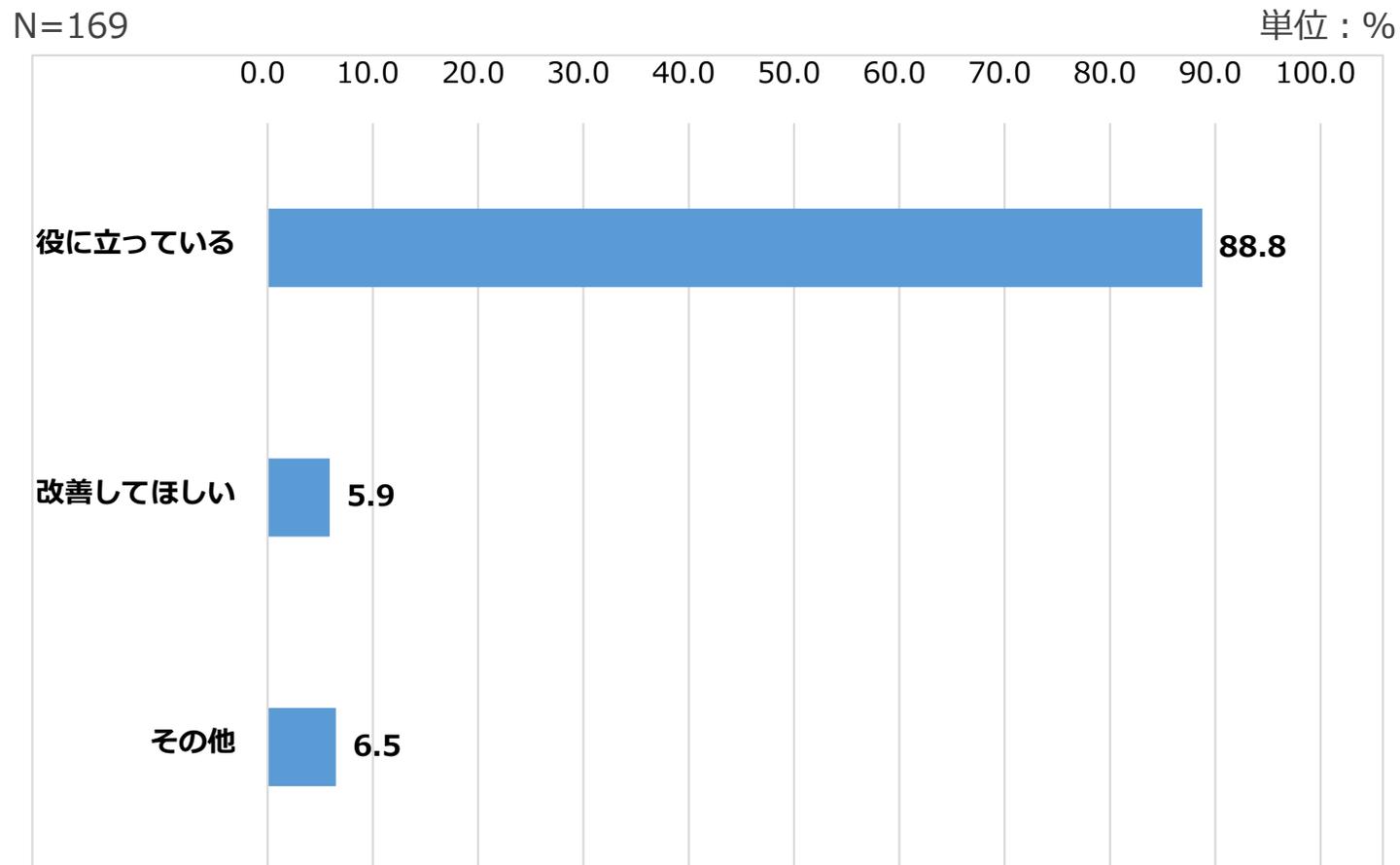
単位：%



# ■ JREC-IN Portal 求職者照会機能役立ち度

設問8-1. 求職者照会機能について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

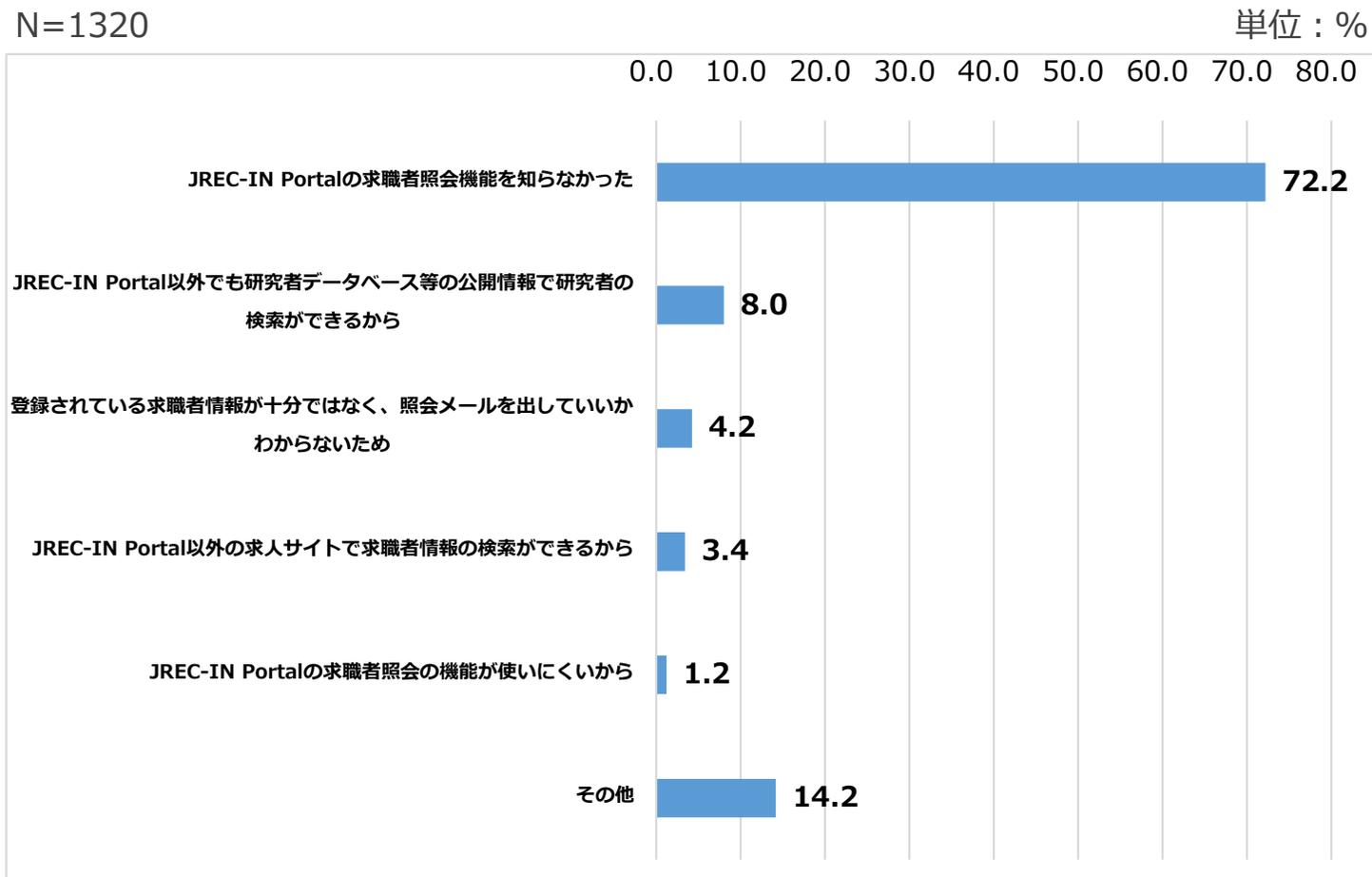
● JREC-IN Portal 求職者照会機能役立ち度は、「役に立っている」が88.8%と最も高く、次いで「改善してほしい」の5.9%の順が続いている。



# ■ JREC-IN Portal 求職者照会機能を利用していない理由

設問8-2. 求職者照会機能を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

● 求職者照会機能を利用していない理由として、「JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった」が72.2%と最も高く、次いで「JREC-IN Portal以外でも研究者データベース等の公開情報で研究者の検索ができるから」の8.0%、「登録されている求職者情報が十分ではなく、照会メールを出していいかわからないため」の4.2%の順に続いている。



# ■ JREC-IN Portal 求職者情報の不十分さ及び、求職者照会機能の使い勝手

## 設問8-2-1. 求職者情報の不十分さや、求職者照会機能の使いにくさについて具体的に書いてください。【自由入力】

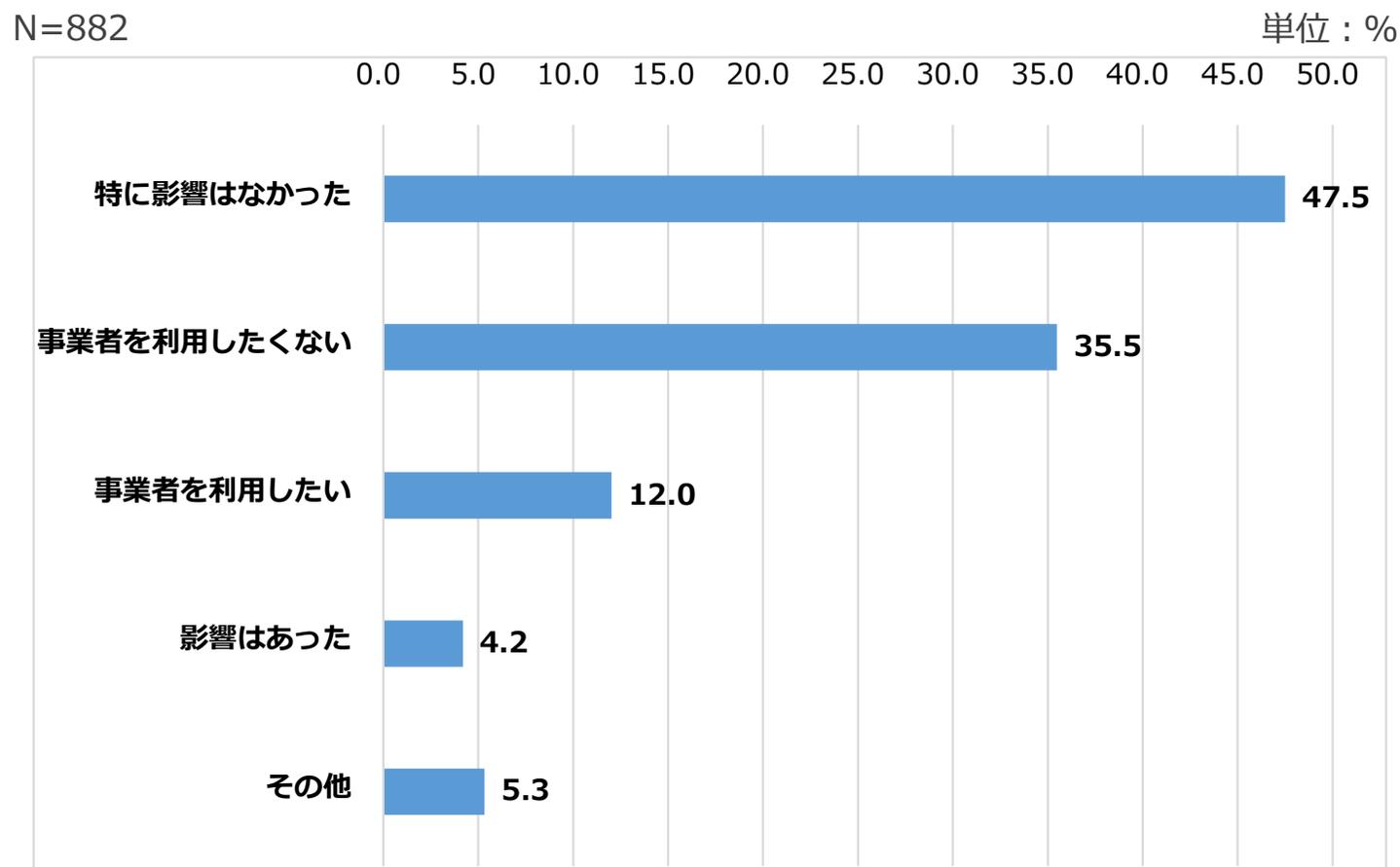
### ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- URAなど研究支援職種の求人情報とミスマッチがあるように思います。
- こちらからヘッドハンティングすること自体に、組織的な承認が必要である。
- こちらの希望する人材に合致することがほとんどない。登録者が不十分と思われる。
- こちらの条件にあてはまるのか判断つかない。こちらから問い合わせても採用するかわからないので心理的に使いにくい。
- マッチ率が分かり難い。
- もう少しインターフェイスの見た目が魅力的だと良いと思う。
- 閲覧できる求職者情報だけでは、これまでご応募いただいたことのある方が、そうでないか判断できず、照会メールを送りにくい。
- 学術的な分野の選択肢が合わない場合がある。
- 基本的に満足しているが、逆に大学の公募なので細かな情報をすべて入れないといけないところが難しい。英語の募集ができるのが非常に良い。(アクセスも外国からが多い)
- 求める人材になかなか辿り着けないため。
- 求職者について意見を頂戴する推薦者を求めているため。
- 求職者の地域が限定されること(事務所の立地条件)。
- 求職者の本気度が見えにくい。
- 求職者情報からスカウトする方法を採用ルールで承認していないため利用できない。
- 求人に対し、現時点ではこちらより紹介メールを送るというよりは、応募を待つという姿勢が自組織の中でまだ定着しているため、利用していない。
- 教員免許資格の有無が不明なため。
- 掲載数が増えたと良い。
- 研究者URLへの入力の有無でかなり大きく情報量に差があると思われる。教員についてはダウンロード後のCSVがとにかく見にくく利用しづらいと思います。特に自由記述項目でセル内の文章が長くなると、如何ともし難い面があると思います。
- 研究者からURA等へのキャリアチェンジを考え始めている人を探しにくい。
- 個人に連絡するのではなく、あるカテゴリー(キーワード)の人たちに一斉メールを送る等のサービスがあるなら使いたい。
- 公募担当者は応募書類の受付などの事務手続きのみ行って、採用・不採用の決定は別途評価者が提出された書類を基に行っているため、現時点で必要を感じていない。
- 専門性の観点から、求職者のスキルが判らない段階でコンタクトすることが躊躇されるから。
- 専門性の程度が不明な点、「待ち」の体制の求職者になかなかマッチする人材がない点。
- 選択するジャンル等が必ずしも募集するジャンルに合わない場合も多い。
- 全ての学問分野を満遍なくカバーしていない、特に研究分野-大分類-小分類の分類が大雑把すぎかつ本人の自己申告に過ぎないから。
- 直接、電子ファイルで応募していただいておりますが、応募者がこちらで照会できるかどうか不明のため、利用していない。
- 電子メールでやりとりができるので、使用しておらず、機能を知りませんでした。
- 登録されている求職者情報が不十分のため、照会のメールを送信することがためられます。
- 登録時の入力項目があまりにも多く、また、わかりにくいことが多くて大変でした。
- 本校は、中等教育機関のため、そもそも、中等教育機関への就職希望者が少ないと予想しており、求職者情報についての機能等を検討する機会がなかった。

## ■ JREC-IN Portal 職業紹介事業者を介した求職者へのアプローチの利用状況、職業紹介事業者の参入による貴機関への影響

設問9. 職業紹介事業者を介した求職者へのアプローチの利用状況と、職業紹介事業者の参入による貴機関への影響を選んでください。理由については、「5. その他」欄に詳細を書いてください。【複数選択可】

● 職業紹介事業者を介した求職者へのアプローチの利用状況と、職業紹介事業者の参入による貴機関への影響について、「特に影響はなかった」が47.5%と最も高く、次いで「事業者を利用したくない」の35.5%、「事業者を利用したい」の12.0%の順に続いている。



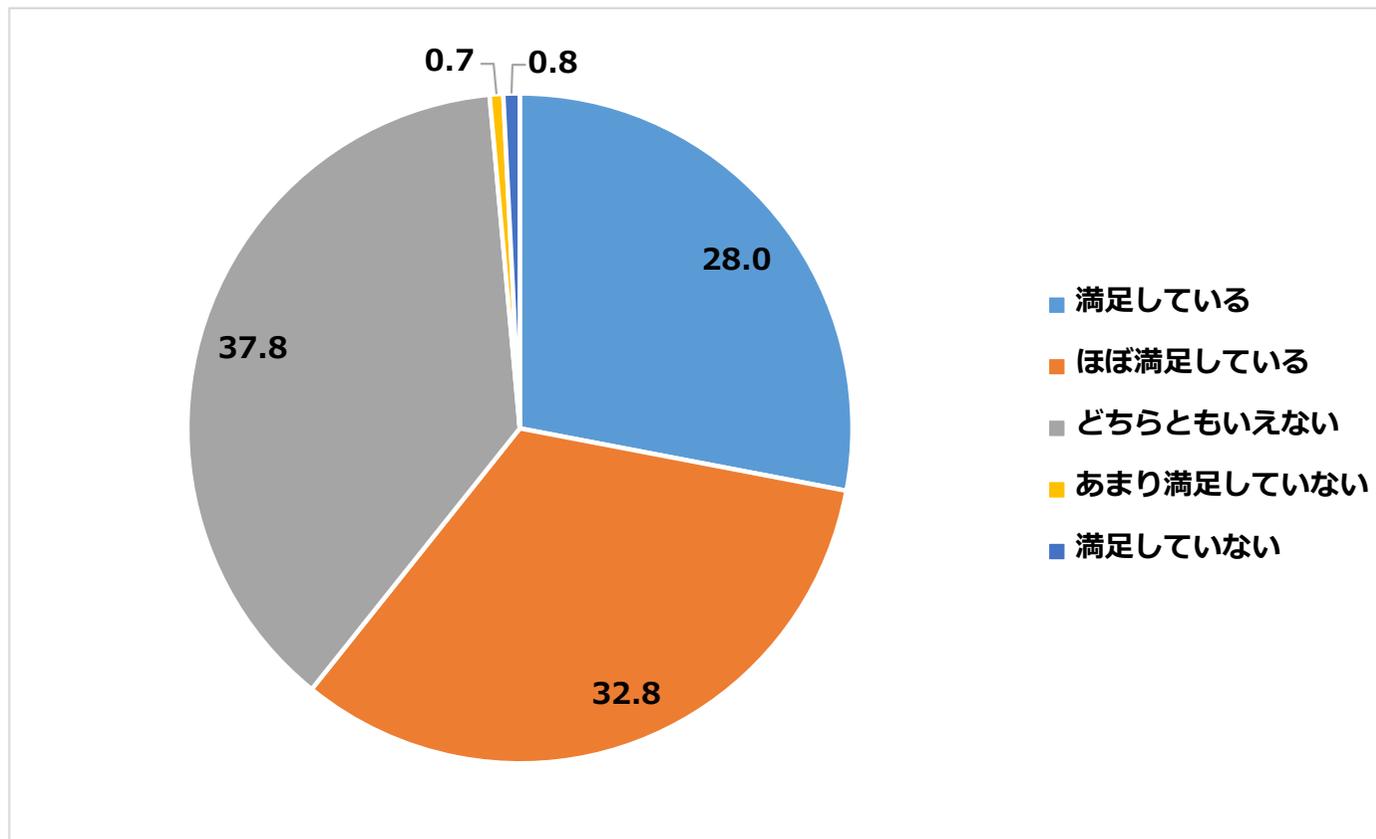
# ■ JREC-IN Portal サービス支援センターの業務に対する満足度

設問10. JREC-IN Portalでは、求人機関登録および公募掲載等の業務について、サービス支援センターが対応しています。サービス支援センターの業務に対する満足度を5段階から選んでください。【1つ選択】

● サービス支援センターの業務に対する満足度について、「満足している」が28.0%、「ほぼ満足している」が32.8%、「どちらともいえない」が37.8%であった。

N=1512

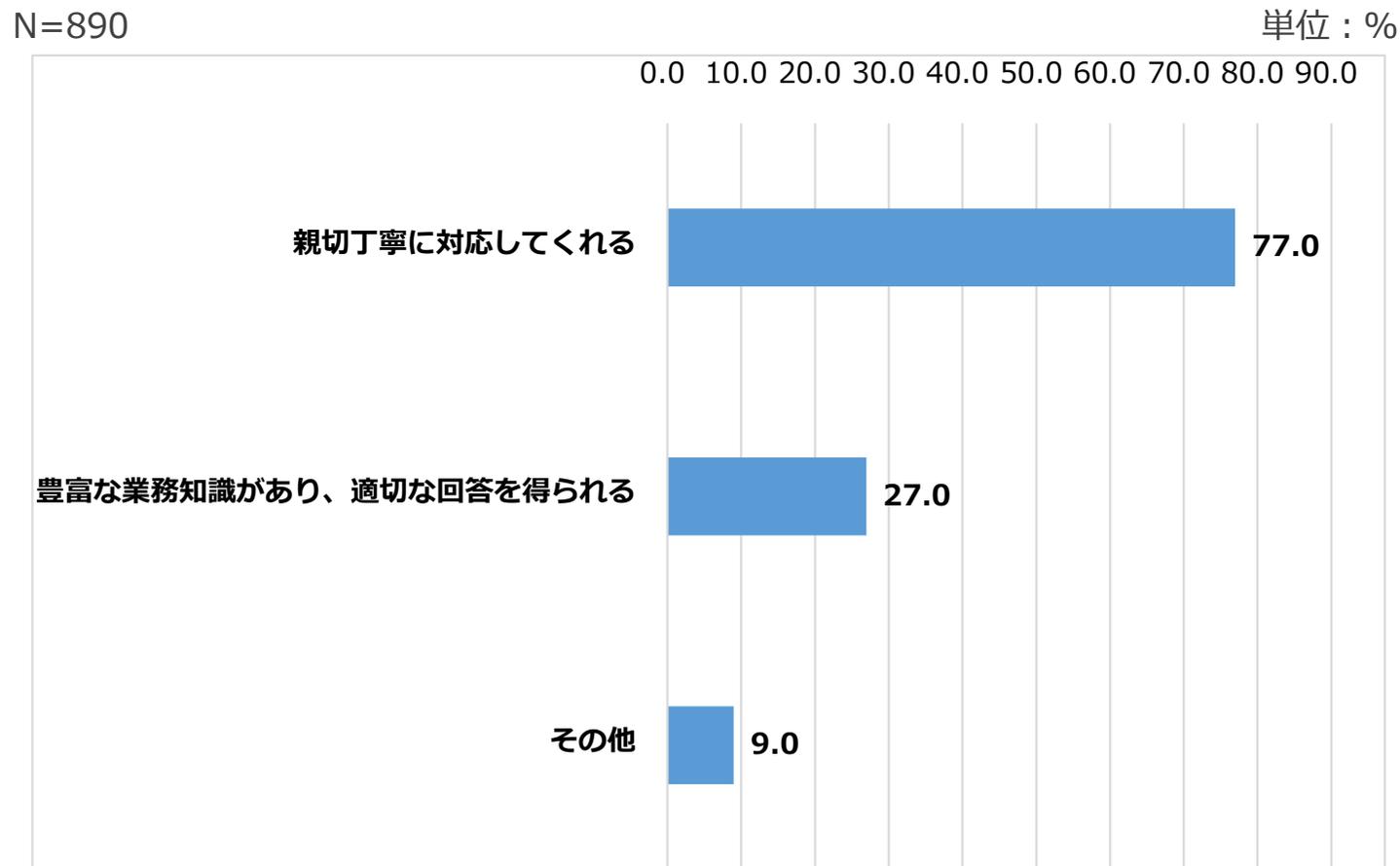
単位：%



# ■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足している点

設問10-1. サービス支援センターの対応で満足している点を選んでください。【複数選択可】

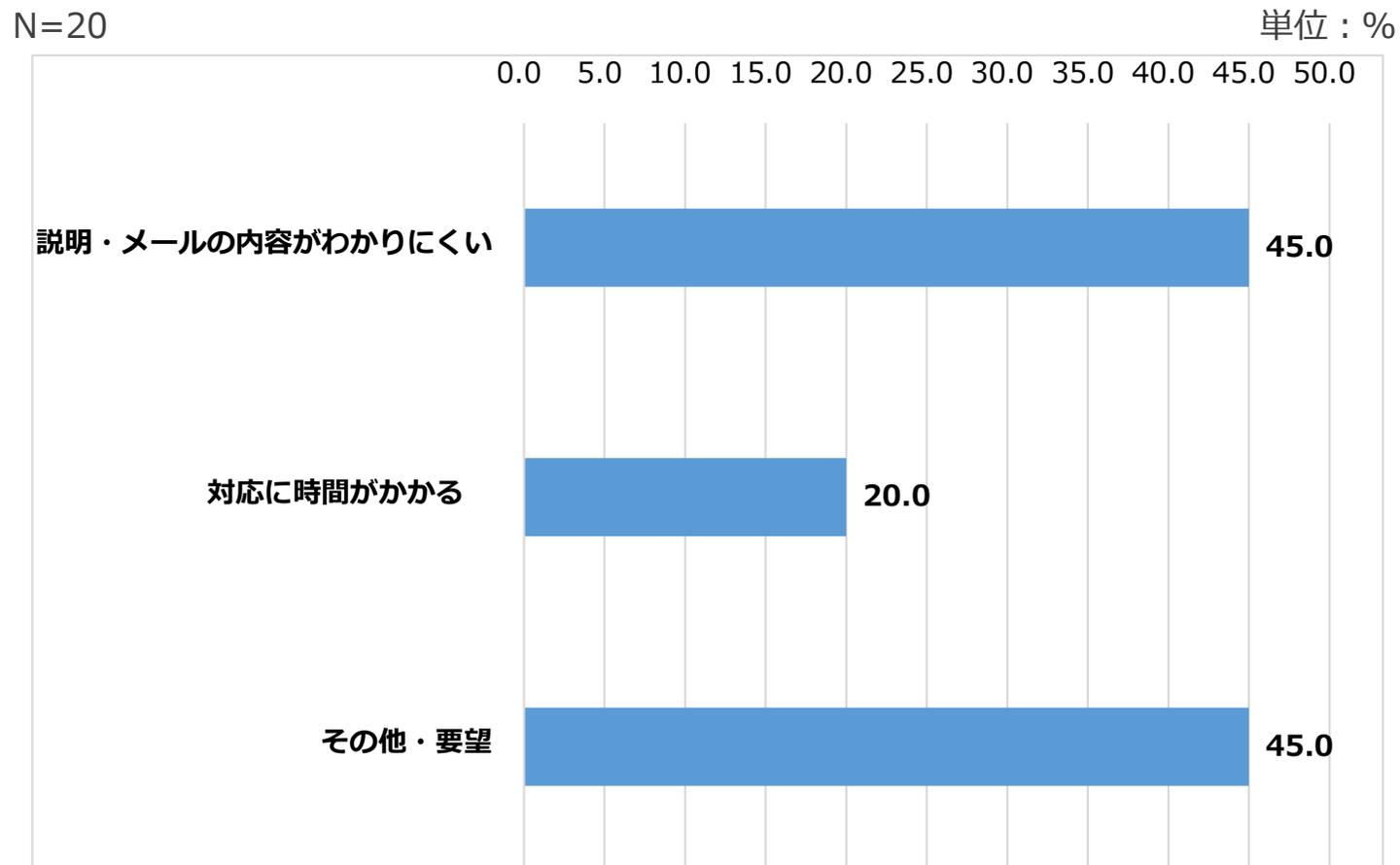
● サービス支援センターの対応で満足している点について、「親切丁寧に対応してくれる」が77.0%と最も高く、次いで「豊富な業務知識があり、適切な回答を得られる」の27.0%、「その他」の9.0%の順に続いている。



# ■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足していない点

設問10-2. サービス支援センターの対応で満足していない点を選んでください。【複数選択可】

● サービス支援センターの対応で満足していない点について、「説明・メールの内容がわかりにくい」が45.0%と最も高く、次いで「対応に時間がかかる」の20.0%の順に続いている。



## ■ JREC-IN Portal サービス支援センターの対応で満足していない点（その他・要望）

設問10-2. サービス支援センターの対応で満足していない点を選んでください。【その他・要望の自由入力】

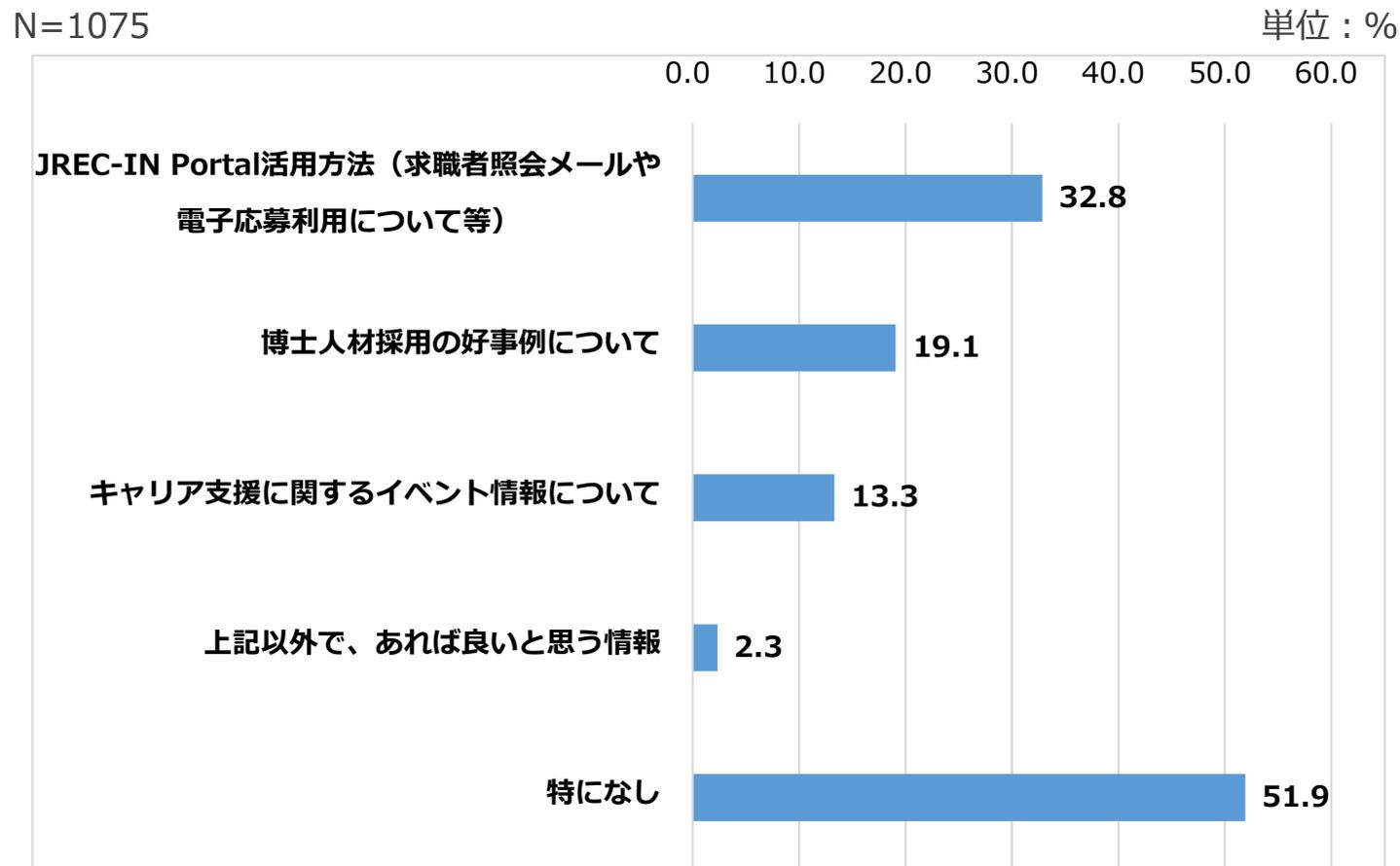
### ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- 掲載完了の連絡が迷惑メール扱いになった。
- センターの要望に応じないと掲載されない。
- 10年近く応募がないから。
- サービス支援センターの存在や内容を把握していない。
- JREC-INはデバイス組み立ての技術補佐員の募集でも科学に関する経歴が必要（細かい作業ができるだけではだめ）なので使い勝手が悪い。
- 掲載したばかりで判断材料に欠ける。
- 地方では役に立たない。

## ■ JREC-IN Portal 採用業務に役立つコンテンツとして、作成してほしいもの

設問11. 採用業務に役立つコンテンツ（読み物やイベント情報）として、作成してほしいものを選んでください。【複数選択可】

●採用業務に役立つコンテンツとして、作成してほしいものは、「JREC-IN Portal活用方法（求職者照会メールや電子応募利用について等）」が32.8%と最も高く、次いで「博士人材採用の好事例について」の19.1%、「キャリア支援に関するイベント情報について」の13.3%の順に続いている。「特になし」は51.9%であった。



# ■ JREC-IN Portal 採用業務に役立つコンテンツとして、作成してほしいもの（具体的に）

## 設問11-1. 希望する内容を具体的に書いてください。【自由入力】

### ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- 面接会や合同企業説明会が実施されるようであれば検討したい。
- ダイバーシティ、包摂のために人事でどういう留意が必要などの公開セミナー、もしくは、オンラインパンフレットなど、多様な人材が職を得られるようにするサポート（採用審査をしている教員はこの道のプロではなくて、アマチュアなので）。
- スタートアップ企業で新卒で働き始めた博士の良い実例（私が博士課程の時はスタートアップに行く選択肢は思いつかなかったですが、身近に実例があればキャリアとして考えるかもです）。JREC-INで良い人材が見つかり活躍していますという実例と、その際に工夫したことをセットで紹介してほしい。
- 求職者照会メールや電子応募利用について。
- 求職者照会機能の紹介動画、マッチング事例、ミスマッチ事例、採用担当者インタビュー。
- 応募書類の不備（記載漏れ）等があった際の対応プロセス。
- 具体的な求職者照会メールの活用事例等。
- 求職している人材の動向と採用後の活動について教えてほしい。
- 採用業務の現場ではなく、紙媒体しか許さない上層部の考えを変えることができるようなコンテンツ。
- これは博士人材を採用する側としての考えですが、大学生・大学院生が、修士で出て就職しようか博士まで行ってから就職しようか迷う人が多く、一般的に博士卒の人材を得にくいところがあるので、博士課程に進みやすくなるような、博士人材のメリットについて具体的に分かるような情報をご提供いただければ有難い。
- 採用先で何ができるか。大学や教室のスペック、魅力アピール、応募資格はベタなものを羅列するしかなく（人材課や年寄りの先輩達が当たり障りがないように、ハイスペックで記載することを要求する）、どういう人材が欲しいか（ピンポイントで決めてとなるもの）記載する場所。
- 工学系の進路と10年20年30年後の姿。
- 求職者照会はしたことがないので、手順がわかるとよいかも知れませんが。
- JREC-IN Portalの利用マニュアル（入会手続きから退会手続きまでが網羅されたもの）。
- Web応募のメリットを大学にアピールしてほしい。
- 賃金等の相場について。
- 特許業界における博士人材の活用事例を取り上げて欲しい。
- 求職者照会機能などあまり把握していない機能があるため。
- 博士進学を迷う学生が、明るい希望をもち進学意欲をもってくれるような内容。例：博士進学者が企業に勤めた場合の活躍の事例、逆に活躍できにくい事例。例：博士進学者が世界で活躍するための具体的な道筋（体験談や具体的な制度の詳細）。
- 博士や任期切れの近い研究者の就職支援を積極的に支援している大学や研究機関について、およびそういった団体が開催しているイベントの情報が欲しいです。
- 科学者が、研究者や教授以外での職種で、民間で活躍している情報があると良いと思います。
- 求職者と直接会えるイベントがあれば是非参加したい。知名度はない企業がアピールできる場が欲しい。
- 審査する側の教員にもJREC-IN の良さを理解して頂ける内容の動画等があれば利用したい。
- 大学と企業の研究者・技術者間の交流を促すようなイベントの企画。
- 知財関連の職業について周知の機会があるとよりありがたいです。
- 東西都市圏以外の採用の実情など、特に家庭の事情（共働きの仕事の得やすさ、単身赴任の是非、就学児がいる場合の転居の困難さなど）で、ワーク・ライフバランスを考えた時に、地方より仕事のチョイスがある都市圏志向が高くなっているのではないか。
- 博士人材の採用には、大学、公設試験研究機関（国、自治体）など様々な形態があります。その相違点や特徴などを特集していただき、地方の自治体での博士採用を促進したい。

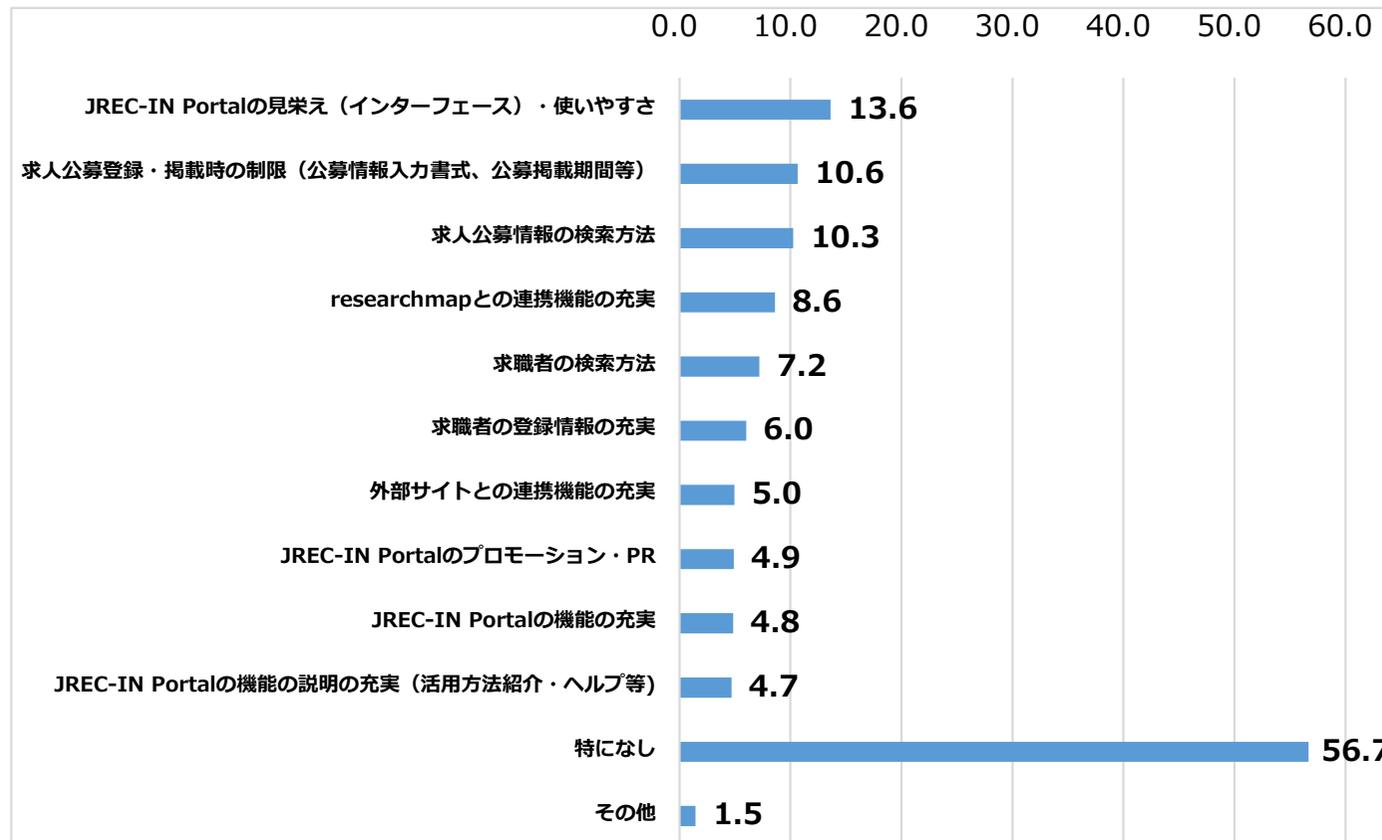
# ■ JREC-IN Portal 改善点

設問12. JREC-IN Portalの改善点を選んでください（当てはまるものをすべて選択）。【複数選択可】

● JREC-IN Portalの改善点として、「JREC-IN Portalの見栄え（インターフェース）・使いやすさ」が13.6%と最も高く、次いで「求人公募登録・掲載時の制限（公募情報入力書式、公募掲載期間等）」の10.6%、「求人公募情報の検索方法」の10.3%の順が続いている。「特になし」は56.7%であった。

N=1512

単位：%



# ■ JREC-IN Portal 改善点や参考にすべきWebサイトや期待する機能等

設問13. 設問12について、改善点や参考にすべきWebサイトや期待する機能等があれば、お聞かせください。【自由入力】

## ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- Youtubeに掲載された動画等は拝見しました。機能であったり、求人を掲載して実際の応募や入社に繋がった事例も確実にあるため、プロモーション（見栄え含む）次第で十分に利活用が進むのではないかと考えます。
- 内容修正が即時反映ではない点が最大の問題点。アップロード直後に誤字脱字やミスタイプに気付いても、曜日や時間帯によっては修正の申請から反映まで1-2日時間がかかる点。
- 使いやすいデザインと操作性の向上が重要だと思います。スマホ対応の向上やスマホのアプリもあるとよいと思います。
- 過去の公募情報をコピーして活用できる点はとても助かっているが、そのコピーボタンが見つげにくいため色々なページ内を探してしまふ。分かりにくいので改善して欲しい。
- 情報の閲覧者がいた場合、日単位や週単位などで閲覧頻度数の集計結果をメールで自動送信していただければ助かります。また、閲覧者が、どのような条件／キーワードを使用して検索をかけたのか（例、都道府県などの地理的範囲、専門分野、など）が分かれば、今後の採用活動の情報として利用できると考えられます。
- 応募者が作成するテンプレートをアップロードできるのはたいへんありがたい機能であるが、その容量の上限が低すぎて本学のもを掲載することができない。アップロードできる容量の上限をあげてほしい。
- 職務履歴について事前に詳細な情報が得られるような仕組みが仲介支援。（過去に配属部署の内容などから面接を行いました。開発について全く未経験の営業の方がいらっしゃいました。専門職用の求人であることから職務履歴についてのレベルでもいいので事前に確認出来たらよかったですと思います。）
- 求人登録の際に、応募様式をZIP形式でアップロードできるようにしていただきたい。期限を時間指定（担当事務受付時間等）できるとありがたい。
- 求職者の業績をScopusや日本の研究.comで見るので、こうした外部サイトへの連携機能が欲しい。
- 地方でも就職可能な方の登録の充実。
- 多様な選択肢よりも、できるだけPDF一つだけのアップロードで 1 clickなどの単純なインターフェイスが良いと思う。応募者の身元データ入力が増えるのは仕方ない。やり過ぎると人材マッチングサイトの企業なみになってしまうので、JREC-INの性格を考えてアカデミーの分野の学術スタッフ・教員募集として簡素な範囲を保ってほしいと大学の立場としては思う。
- 組織のイメージや環境がわかるような写真等の掲載ができるようになると求職者も選択の参考になるのではないかと思います。
- 検索条件を保存できるようになりとても使いやすくなりました。これについて、検索条件の名前を任意で変更出来るようになればありがたいです。また、求職者の研究内容や専門分野について、記載情報が少なく、より詳細に知りたいときに、情報の追記をお願いできる機能がありがたいです。
- 待遇の給与について「本学給与規定による」と書く場合は給与規定へのリンクをはれるようにすべきと思う。規定を公開していない大学は具体的な金額を記入すべきと思う。
- 公募情報の入力に一つ一つのセルに個別に入力が必要。テンプレートなどを使って一括して1ファイルをアップロードできるようになると入力ミスの可能性、入力時間が短縮できると思います。
- 最大の問題は「研究分野」の入力があるのに教員として教える「担当科目」の欄がないことです。研究機関に所属する研究者の9割以上は教員として組織に雇われています。そのうちの3割ほどは「外国語」の教員でありまして、外国語の教員は通常の場合はその人の「研究分野」と「担当科目」が異なっています。語学担当の教員の募集を想定していないつくりになっています。専門とする分野と並んで、それとは別個に「募集している担当科目」を記入し、それで検索できるシステムにしてほしいと切に思います。よろしく願います。
- 専門職大学においては特に、研究者志向の方のみならず、実務家教員を多数採用していく必要があります。このため、JREC-IN Portalには、実務家が日頃閲覧するようなサイトとの積極的な連携など、実務家をターゲットにしたプロモーション・PRをより一層行っていただきたいと思えます。
- 機能を充実するのはいいが、求人情報のフォーマットや手続きについて、大きく変わると負担が増えるのであまり変えないでいただきますようお願いいたします。
- 求人情報の登録が完了する際に送られてくるメールに、当該求人情報のURLを付与して欲しいです。
- 検索してもらうための分野の分類を細分化してもらえれば。（その他で記入できるのですが、分類があればなお良いと思います。）
- 公募情報の登録時に、最短の掲載日が分かるとよい。
- 大学関係とそうでないものの素早い分離、検索。
- 登録日の日付や掲載日の日付など、変更が難しい点。また、公開前に登録した内容を閲覧することが困難な点。また、ブラウザ等に依存して、登録内容にバナー広告が覆いかぶさってしまう点など。
- 不採用となった人への通知メールを発信する機能ができれば良いと思いました。現状では、審査状況のモードが変わったことが自動通知されるのみで、不採用通知は別途、個人宛のメールを送っていますが、システムから応募者にメールできるようになればさらに便利だと思います。

# ■ JREC-IN Portal 意見・要望

## 設問14. JREC-IN Portalへのご意見・ご要望をお書きください。【自由入力】

### ■ 自由記述回答の一部を抜粋。

- 本学では最近、JREC-INだけを窓口にする人事が増えました。まだ（私自身は）不慣れですが、メリットが大きいと感じています。
- 求人求職情報、その手続きについてどんどんデジタル化することは非常に重要なことです。超長期的に見れば日本の大学は統廃合が加速し、その際に貴システムが活用されると思います。一方で、求職者の定性的な情報（例えば性格や個人的価値観など）は、引き続きアナログな部分、インフォーマルな情報収集も重要です。自分が所属する研究機関の位置づけ（他機関との力関係）を鑑みれば、研究だけの人、教育だけの人、行政にしか興味がない人、短期に転職を繰り返していく人には不向きです。
- 募集分野の専門から少し外れた方の目にも触れるので、境界領域の方からの募集が期待できる点もよいです。
- 信頼できる求人機関ですので、安心して利用できます。
- 個々の情報を何人くらい見ているのかを知れるような機能があればよい。
- 公募情報を入力する時の画面が小さく、誤植がないか確認しづらい。
- 他にない専門性を有した人材が集まっているポータルだと思います、今後も利用予定です。
- 前職が大学、公的研究機関勤務の方だけでなく、前職が民間企業の研究職勤務の方にも多数応募していただけると、JREC-INの利用価値がさらに向上すると思います。そのためにはJREC-INのより広い層へのPRが必要ではないでしょうか。
- 設問 1 2 に関連しますが求人情報についての入力の際、見づらさを感じました。入力欄の幅を拡張などいただくと幸いです。今回のアンケートがとても見やすいものなので、こういったイメージで入力できるとありがたく存じます。
- このサービスを継続して欲しい。もちろん時代に合わせてアップデートして欲しい。
- お断りする際の丁寧な仲介支援などのサービスがあると大変助かります。
- 今後も是非無料ででの運用をお願いしたいです。
- 利用者を増やすためには、公募自体が増えなければいけないと思う。
- 次に採用案件があるときに活用させて頂きたいと思いますので、登録者の充実をお願い致します。また、大手企業では、定年等で退職する方々の再就職を斡旋していると聞きました。このような人材をJRECに登録して頂くように働きかけて頂きたいと思います。
- 入力者が事務方の場合と、採用部署の教員の場合があり、複数部署で入力して良いことを周知してほしい。また、人事異動や担当の異動での引き継ぎは、どうすることが適当か（アカウントを引き続きつかうのか、新規に取り直すのか）情報が欲しい。
- JREC-IN Portalは専門性の高い人材が多く活用しており、とてもありがたく活用させて頂いています。とはいえ企業を志望する求職者がまだ少ないため、「企業は視野に入れていない」程度のライトな求職者に研究型企業の事業や実績について紹介できるイベントなどを開催して頂ければとてもありがたく存じます。
- JREC-IN Portalを情報提供の窓口として利便性が高いと感じています。しかし、応募書類受付窓口とは考えていません。無料で簡便な応募が可能になることによって、応募要領も読まず、募集に適合しないことさえ確認せずに以前作成した応募書類をそのまま送り付けるケースが増えています。手間を惜みず準備した応募書類を紙媒体で受け取ることが、応募者の意欲や人間性を判断する材料ともなると考えています。
- この度は求人登録をしていただき有難うございました。専門性の高い営業職を求めているので、なかなかハローワークや人材紹介会社では応募者が少なく困っていました。こちらで良い方々との出会いがあると助かります。今後ともよろしく願いいたします。
- 応募者からの電子ファイルが安全な状態で管理でき、大変役立っています。継続的な運用に重ねて御礼申し上げます。
- 過去に応募する側として利用させていただいており、情報が集約されていることから非常に助かっていました。今年度は立場を変えて、研究室で採用するポストクの募集のために初めて利用させていただきました。まずはこのサイトで探す、という役割を担っていただけると、今後とても助かります。
- 研究機関等における業務が細分化される中で、主たる業務が研究ではないものの当該分野の知識を有した専門的人材を求められる場面が増えている。また、修士修了者でなくても十分な業績を有した求職者もいることから、そういった研究機関における幅広い人材確保を一括して公募できるよう、掲載可能な範囲・方法を拡充していただきたい。
- 研究者や特定の職のみではなく、幅広い職種の掲載をしていただくと大変有難く存じます。事務系でも、空前の人手不足で、ハローワークでは自社内でも募集が多数となっており、なかなか応募に結び付きません。ぜひ、国内外から良い人材を取れるよう、枠を広げていただければと助かります。※そちらの業務の主旨と異なるようでしたら何ともご対応は難しいとは存じますが。
- 公募要領が既に完成している件の内容を細かく入力する事が面倒なため、掲載する事を毎回ためらう。項目ごとの入力をお願いできるシステムや、各機関で承認を得た公募要領をそのまま貼り付けて公開できるようにしてほしい。



質問票

# ■ 質問票 (1/3)

## 1. 貴機関の種別を選んでください。【1つ選択】

1. 国立大学
2. 公立大学
3. 私立大学
4. 短期大学
5. 専門職大学
6. 専門職短期大学
7. 高等専門学校
8. 専門学校(専修学校専門課程)
9. その他教育機関 (小中高等学校、大学校)
10. 大学共同利用機関法人・独立行政法人・国立研究機関・省庁等
11. 公設試験研究機関・地方自治体等
12. 特殊法人・認可法人
13. 公益法人
14. 民間企業
15. 海外研究機関 (大学・公的研究機関)
16. 国際機関
17. 職業紹介事業者
18. その他 (自由入力必須)

## 2. 所属部署を選んでください。【1つ選択】

1. 採用者の配属部署
2. 総務・人事担当部署
3. その他 (自由入力必須)

## 3. 求人に関わる担当業務 (応募者の募集・選考・採用など)を選んでください。【複数選択可】

1. 求人公募情報のJREC-IN Portalへの入力等掲載手続きを行っている
2. 自部署の求人公募情報を一元管理している
3. 他部署を含めて求人公募情報を一元管理している
4. 求人内容 (業務内容・必要とする資格等) を決定する
5. 応募者の採用審査を行っている
6. 採用者を決定する
7. その他 (自由入力必須)

## 4. よく利用する求人公募情報の掲載・提供先を選んでください。【複数選択可】

1. JREC-IN Portal
2. 自組織のWebサイト
3. 学協会 (学会Webサイト、学会誌、メーリングリスト等)
4. UMIN (大学病院医療情報ネットワーク研究センター)
5. 国内の民間求職サイト
6. 海外の求職サイト
7. 人材紹介会社
8. ハローワーク
9. その他

### 4-1. 国内の民間求職サイト、海外の求職サイト、人材紹介会社について具体的に書いてください。

( )

## 5. JREC-IN Portalは求人活動に役に立っていますか。【1つ選択】

1. とても役に立っている
2. どちらかといえば役に立っている
3. どちらかといえば役に立っていない
4. まったく役に立っていない

### 5-1. 役に立っている理由を選んでください。【複数選択可】

1. 無料で利用できる
2. 応募数が多い
3. 専門性の高い人材を採用できる
4. 求人公募情報を掲載するにあたっての手続きが簡単
5. 求人公募情報の入力の作業 (操作) が簡単
6. JSTが運営しているので安心できる
7. 他に類似のサービスがない
8. その他 (自由入力必須)

### 5-2. 役に立っていない理由を選んでください。【複数選択可】

1. 応募数が少ない
2. 求職者情報検索で求める人材が見つからない
3. 求人公募情報を掲載すると人材紹介会社等から営業のメール等で連絡がくる
4. 求人公募情報を掲載するまでの手続きが難しい
5. 求人公募情報の情報入力作業が難しい
6. 利用開始から間もないのでわからない
7. より役立つ求人公募掲載・サイトが他にある
8. より役立つサービスが他にある
9. その他 (自由入力必須)

# ■ 質問票 (2/3)

5-2-1. 設問5-2で選択肢3・7・8を選んだ方は、その詳細や役立つサイト名やサービスの内容を具体的に書いてください。

( )

6. 求人プロセス（応募方法など）の見直し等は行っていますか。該当するものを選んでください。【複数選択可】

1. JREC-IN Portal Web応募を利用し始めた
2. 応募のプロセスを見直した（郵送から電子応募の切り替え等）
3. 採用のプロセスを見直した（採用面接を対面からオンライン等に移行）
4. 変わらない
5. その他（自由入力必須）

7. JREC-IN Portal Web応募機能を利用していますか。【一つ選択】

1. 利用している
2. 利用していない
3. 現在は利用していないが、今後の利用を検討している
4. JREC-IN Portal Web応募機能を知らなかった

7-1. JREC-IN Portal Web応募機能について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

1. 役に立っている
2. 改善してほしい
3. その他（自由入力必須）

7-1-1. その理由を書いてください。

( )

7-2. JREC-IN Portal Web応募機能を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

1. 自機関サイトでWeb応募（申請）が可能だから
2. 応募書類等は、自機関への電子メール添付による提出が可能だから
3. 応募書類等は、紙や電子媒体での提出物が必要だから
4. JREC-IN PortalのWeb応募機能に問題があるから
5. その他（自由入力必須）

7-2-1. JREC-IN Portal Web応募機能の問題について具体的に書いてください。

( )

8. 求職者照会機能を利用していますか。【一つ選択】

1. 利用している
2. 利用していないが、利用を検討している
3. 利用していない

8-1. 求職者照会機能について当てはまるものを選んでください。【複数選択可】

1. 役に立っている
2. 改善してほしい
3. その他（自由入力必須）

8-2. 求職者照会機能を利用していない理由を選んでください。【複数選択可】

1. JREC-IN Portalの求職者照会機能を知らなかった
2. JREC-IN Portal以外の求人サイトで求職者情報の検索ができるから
3. JREC-IN Portal以外でも研究者データベース等の公開情報で研究者の検索ができるから
4. 登録されている求職者情報が十分ではなく、照会メールを出していいかわからないため
5. JREC-IN Portalの求職者照会の機能が使いにくいから
6. その他（自由入力必須）

8-2-1. 求職者情報の不十分さや、求職者照会機能の使いにくさについて具体的に書いてください。

( )

9. 職業紹介事業者を介した求職者へのアプローチの利用状況と、職業紹介事業者の参入による貴機関への影響を選んでください。理由については、「5. その他」欄に詳細を書いてください。【複数選択可】

1. 事業者を利用したい
2. 事業者を利用したくない
3. 影響はあった
4. 特に影響はなかった
5. その他

10. JREC-IN Portalでは、求人機関登録および公募掲載等の業務について、サービス支援センターが対応しています。サービス支援センターの業務に対する満足度を5段階から選んでください。【1つ選択】

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. 満足していない

# ■ 質問票 (3/3)

## 10-1. サービス支援センターの対応で満足している点を選んでください。【複数選択可】

1. 豊富な業務知識があり、適切な回答を得られる
2. 親切丁寧に対応してくれる
3. その他（自由入力必須）

## 10-2. サービス支援センターの対応で満足していない点を選んでください。【複数選択可】

1. 対応に時間がかかる
2. 説明・メールの内容がわかりにくい
3. その他・要望（自由入力必須）

## 11. 採用業務に役立つコンテンツ（読み物やイベント情報）として、作成してほしいものを選んでください。【複数選択可】

1. 博士人材採用の好事例について
2. キャリア支援に関するイベント情報について
3. JREC-IN Portal活用方法（求職者照会メールや電子応募利用について等）
4. 上記以外で、あれば良いと思う情報
5. 特になし

## 11-1. 希望する内容を具体的に書いてください。

( )

## 12. JREC-IN Portalの改善点を選んでください（当てはまるものをすべて選択）。【複数選択可】

1. 求人公募情報の検索方法
2. 求人公募登録・掲載時の制限（公募情報入力書式、公募掲載期間等）
3. 求職者の検索方法
4. 求職者の登録情報の充実
5. JREC-IN Portalの機能の充実
6. JREC-IN Portalの見栄え（インターフェース）・使いやすさ
7. JREC-IN Portalの機能の説明の充実（活用方法紹介・ヘルプ等）
8. JREC-IN Portalのプロモーション・PR
9. researchmapとの連携機能の充実
10. 外部サイトとの連携機能の充実
11. その他
12. 特になし

## 13. 設問12について、改善点や参考にすべきWebサイトや期待する機能等があれば、お聞かせください。

( )

## 14. JREC-IN Portalへのご意見・ご要望をお書きください。

( )